

平成 18 年九州地方一級河川の水質現況（要旨）

九州地方整備局は、昭和 33 年から九州の一級水系の水質調査を実施し、昭和 47 年より調査結果を公表しています。

本報告は、平成 18 年（暦年）に実施した水質調査結果の概要をとりまとめたものです。

1. 水質調査地点

調査地点は、直轄河川管理区間の約 8 km に 1 地点の割合で設置。

水質調査地点は、公共用水域の水質の汚濁状況、利水の状況等を勘案し選定します。

九州地方整備局は、一級水系の直轄河川管理区間（20 水系、河川延長約 1,300 km）の 153 地点（平均すると河川延長約 8 km に 1 地点）で、定期的（原則として月 1 回）に水質調査を行っています。

2. 水質調査結果

20 水系の代表地点の平均水質は、近年、良好な状態を維持。

20 水系の代表地点の平均水質（BOD75%値）は、近年、良好な状態を維持しています。

また、長期的な傾向は、年毎の変動幅はあるものの改善傾向を示しています。これは、流域内の排水規制、下水道整備等の発生源対策、住民の生活排水対策、河川内の浄化対策等の効果を反映していると考えられます（図 - 1）。

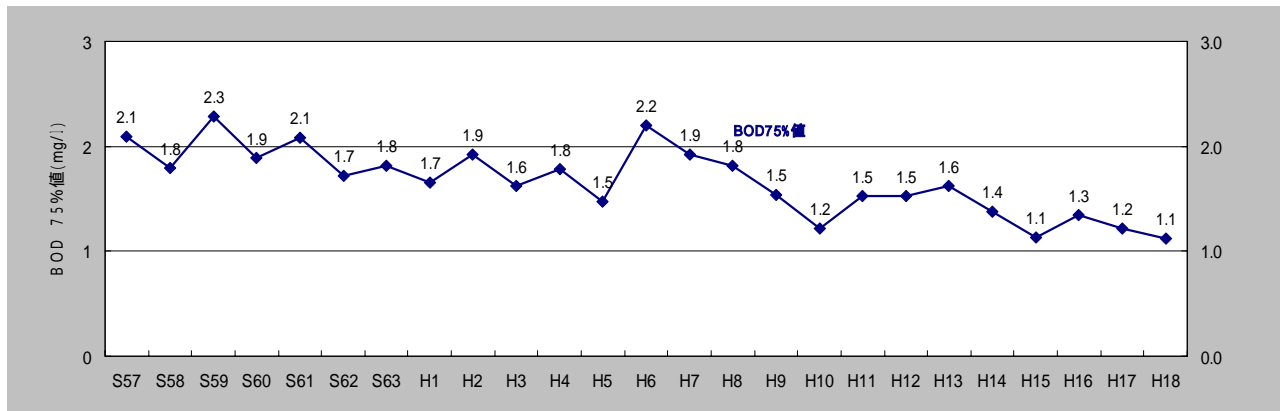


図 - 1 BOD75%値（20 水系主要地点）経年変化

BOD（またはCOD）は、調査地点の99%で環境基準を満足。

BOD（生物化学的酸素要求量）またはCOD（化学的酸素要求量）の75%値は、環境基準が設定されている142地点中140の調査地点（割合にして99%）で環境基準を満足しています。昨年に比べ5%上昇しており、全国（87%）と比較すると引き続き高いレベルを維持しています（図-2）。

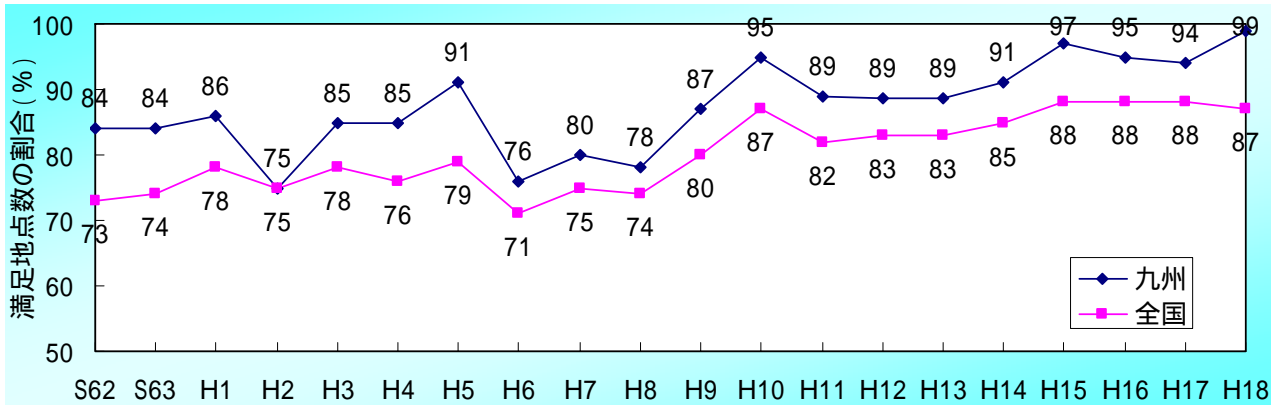


図-2 水質環境基準を満足している地点数の割合の経年変化（九州・全国）

河川はBOD値、湖沼（ダム）はCOD値を用いて評価をおこなった。

河川における類型毎の環境基準値（BOD75%値）

AA 類型：1mg/l，A 類型：2mg/l，B 類型：3mg/l，C 類型：5mg/l，D 類型：8mg/l，E 類型：10mg/l

湖沼（ダム）における類型毎の環境基準値（COD75%値）

AA 類型：1mg/l，A 類型：3mg/l，B 類型：5mg/l，C 類型：8mg/l

BOD 及び COD における環境基準の達成状況

BOD及びCODについては測定年度のデータの75%以上が基準値以下である場合、環境基準を達成していると評価しています。例えば、月1回の測定の場合、12個のデータのうち水質の良い方から9番目の値が75%値となります。この値が基準値以下である場合、当該測定地点において環境基準を達成しているとみなします。

環境基準の満足状況

九州地方整備局は、河川管理者の立場で水質調査を行い、その結果を暦年でとりまとめています。

本報告で「満足」という表現を用いているのは、水質汚濁防止法に基づき年度毎に公共用水域の水質を評価する場合の「達成」という表現と区別するためです。

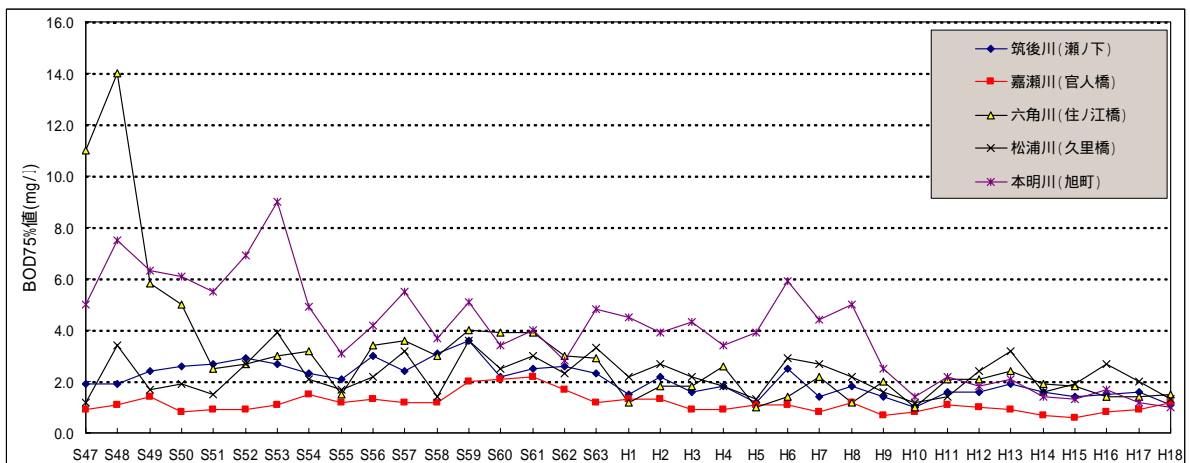
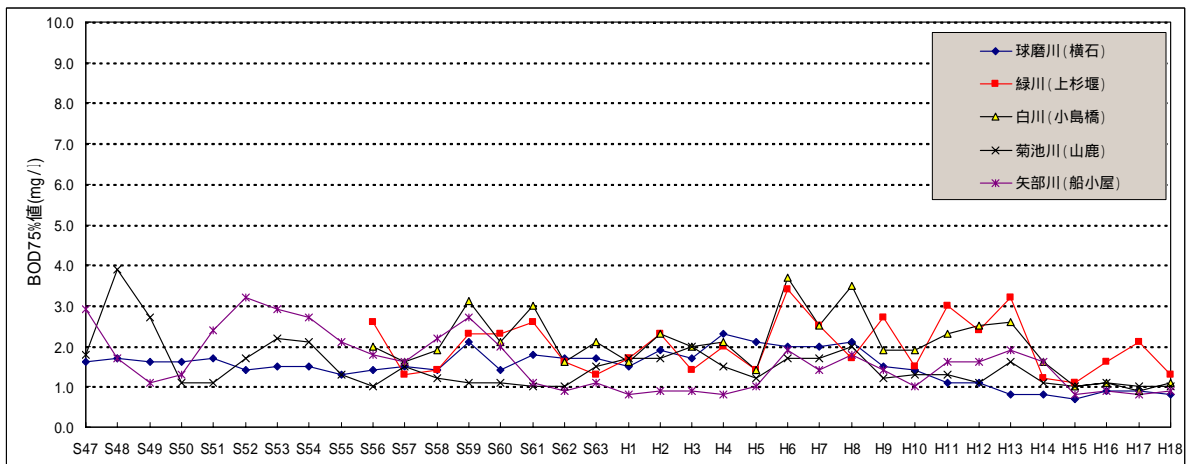
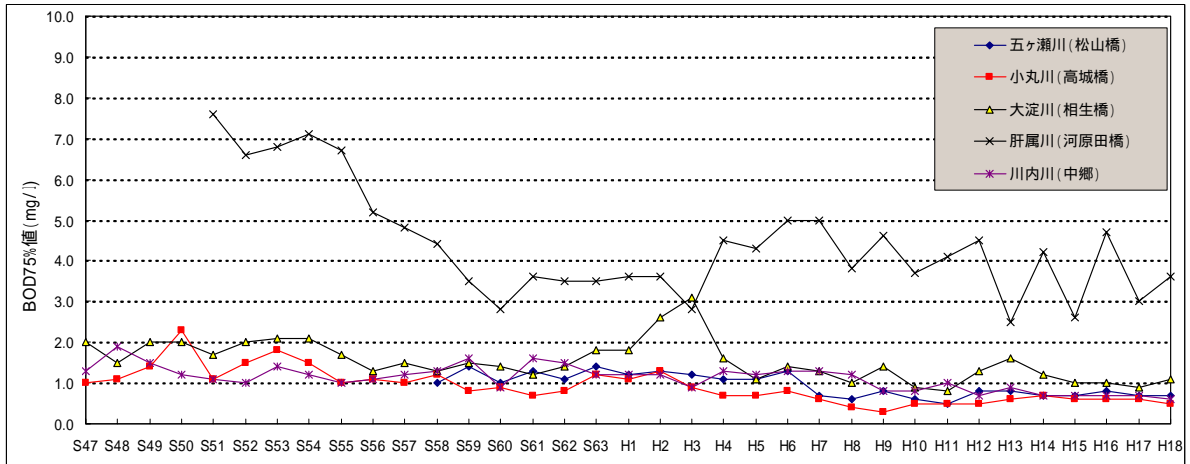
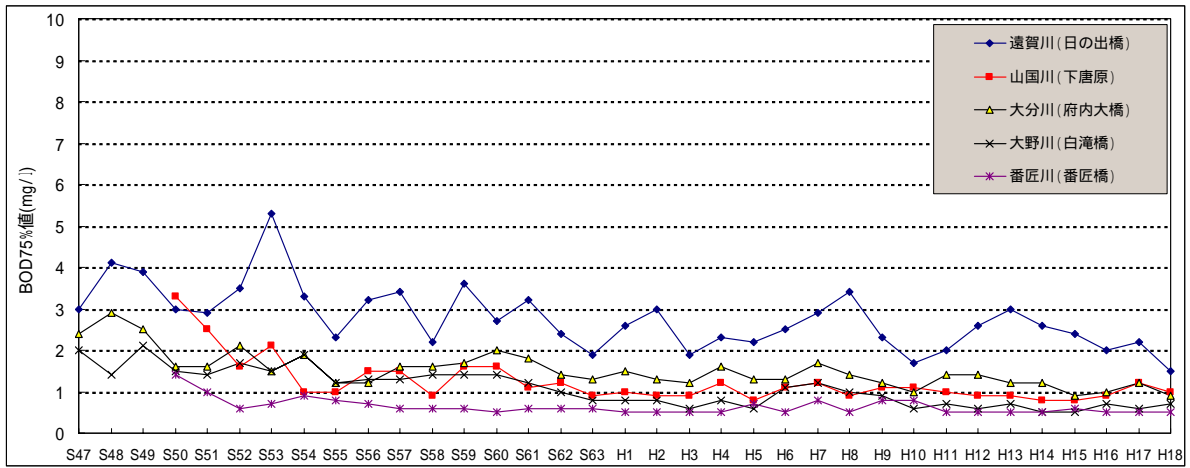


図 3 20 水系の主要地点の水質経年変化

河川の調査地点の 99%は、BOD75%値が 3.0mg/l 以下の良好な水質。

平成 18 年の河川（ダム貯水池除く）の調査地点で、BOD75%値が 3.0mg/l 以下 を満足している地点の割合は全調査地点の 99%（143 / 144 地点）で、平成 17 年より 3%上昇しており、良好な水質が保たれています（図 - 4）。

湯水であった平成 6 年には 3.0mg/l 以下の調査地点が全体の 79%まで低下しているが、平成 9 年以降は極端に水質の悪い地点（10mg/l 以上）は無くなり、平成 13 年以降は全ての調査地点が 5.0mg/l 以下です。

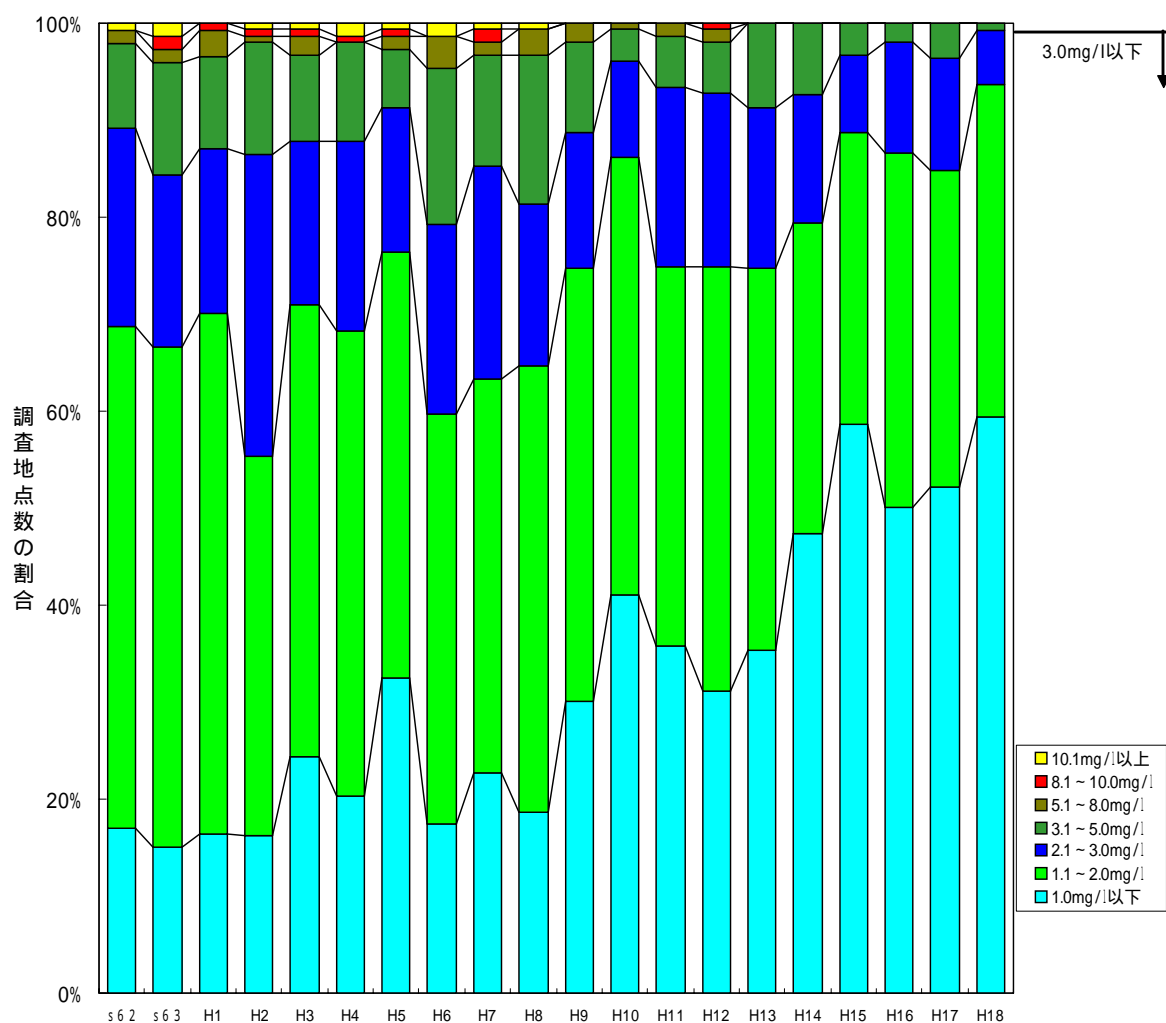


図 - 4 BOD75%値ランク別割合の経年変化

河川水質基準の B 類型の基準値に相当し、水産用水基準の水産 2 級や水道用水基準の水道 3 級に該当します。なお、水産 2 級の基準は、サケ、マス、アユが生息できる水質であり、水道 3 級では前処理等を伴う高度な上水操作をおこなう水質とされており、BOD の他に SS（浮遊物質）や DO（溶存酸素）等の基準が定められています。

河川の平均水質によるランキング

直轄河川管理区間の延長が10 km以上で、公共用水域の水質測定計画に位置付けられている調査地点数が2以上の25河川について、各河川毎のBOD平均値を算出しました(表-1)。

表-1 BOD平均値にみる河川の水質

(単位:mg/L)

順位		河川名 は支川を示す。	調査箇所		平成18年			平成17年
H17	H18		地点	県名	BOD 平均値	BOD平均値 の範囲	BOD 75%値	BOD 平均値
-	1	川辺川(球磨川)	5	熊本県	0.5	0.5 ~ 0.5	0.5	-
3	2	小丸川	2	宮崎県	0.6	0.5 ~ 0.6	0.6	0.7
2	2	五ヶ瀬川	2	宮崎県	0.6	0.6 ~ 0.6	0.6	0.6
1	4	本庄川(大淀川)	3	宮崎県	0.6	0.6 ~ 0.7	0.7	0.5
3	5	川内川	7	鹿児島県	0.7	0.5 ~ 1.4	0.7	0.7
6	6	球磨川	7	熊本県	0.7	0.7 ~ 0.8	0.8	0.8
8	7	菊池川	5	熊本県	0.8	0.7 ~ 0.8	0.8	0.9
7	8	番匠川	3	大分県	0.8	0.5 ~ 1.2	0.9	0.8
5	9	大野川	3	大分県	0.8	0.6 ~ 1.0	1.0	0.8
10	10	筑後川	10	福岡県 大分県 熊本県	0.9	0.6 ~ 1.3	1.0	0.9
8	10	白川	3	熊本県	0.9	0.8 ~ 0.9	1.0	0.9
12	10	緑川	4	熊本県	0.9	0.6 ~ 1.1	1.0	1.0
12	10	大分川	4	大分県	0.9	0.8 ~ 1.1	1.0	1.0
14	10	山国川	6	福岡県 大分県	0.9	0.8 ~ 1.0	1.0	1.0
11	15	松浦川	4	佐賀県	0.9	0.7 ~ 1.1	1.1	1.0
15	16	犬鳴川(遠賀川)	2	福岡県	1.0	0.9 ~ 1.0	1.1	1.1
17	16	矢部川	3	福岡県	1.0	0.8 ~ 1.1	1.1	1.2
15	18	本明川	4	長崎県	1.1	0.8 ~ 1.4	1.1	1.1
19	19	牛津川(六角川)	3	佐賀県	1.1	0.7 ~ 1.9	1.4	1.2
20	20	嘉瀬川	4	佐賀県	1.2	0.7 ~ 1.9	1.3	1.4
22	21	彦山川(遠賀川)	3	福岡県	1.3	0.9 ~ 1.6	1.3	1.7
24	22	遠賀川	5	福岡県	1.3	1.0 ~ 1.7	1.4	2.1
18	22	大淀川	7	宮崎県	1.3	0.8 ~ 2.0	1.4	1.2
21	24	六角川	4	佐賀県	1.6	1.1 ~ 2.3	1.5	1.5
23	25	肝属川	3	鹿児島県	1.9	0.9 ~ 3.1	2.2	1.8
				平均	1.0			1.1

(報告下限値を0.5mg/Lとして集計)

評価方法:順位は、BOD平均値の小さい順である。BOD平均値が同じ場合は、75%値により評価している。

注)川辺川(球磨川)については、熊本県により平成18年から公共用水域における水質測定計画に位置付けられた。

3 . 水生生物調査

小・中学生、高校生及び一般市民等延べ 3,242 人が参加。
 「大変きたない水」と判定された地点はありませんでした。

- ・ 河川の水質保全の必要性や河川愛護の重要性を認識してもらうために、小・中学生、高校生及び地域住民等の参加を得て、昭和 59 年から水生生物による簡易な水質調査を実施しております。
- ・ この調査は川底に住む肉眼で見ることのできる大きさの生物を調べ、水質階級毎に定められた指標生物の出現状況により、川の水質を 4 段階で判定するものです。
- ・ 平成 18 年は一般の方々 3,242 人の参加を得て、管内 20 水系 58 河川 104 地点において実施しました。（平成 17 年は 20 水系 58 河川 118 地点において 3,109 人の参加）
- ・ その結果、「きれいな水」と判定された地点は 52.9%であり、「大変きたない水」と判定された地点はありませんでした（表 - 2、図 - 5）。

「きれいな水」と判断された地点	55 地点	(52.9%)
「少しきたない水」	45 地点	(43.3%)
「きたない水」	4 地点	(3.8%)
「大変きたない水」	0 地点	(0.0%)
不明	0 地点	(0.0%)

表 - 2 水質階級の評価地点の内訳

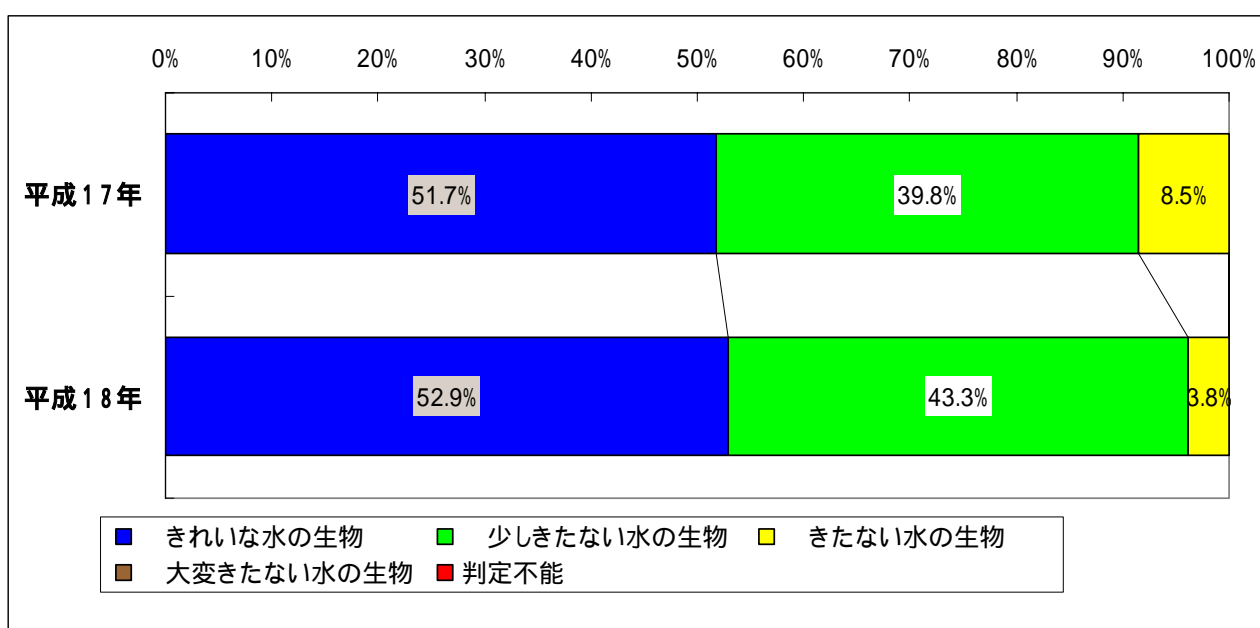


図 - 5 水生生物による簡易水質調査結果（地点割合）

各河川毎の結果については、九州地方整備局 HP にて公表。
 (HP アドレス <http://www.qsr.mlit.go.jp/n-kawa/index.html>)

4. 新しい水質指標による住民との協働調査を実施

平成18年も全水系で新しい水質指標による住民との協働調査を実施。

河川の水質管理指標は、住民にわかりやすいものである必要があります。

このため、平成17年より河川の水質を有機性汚濁指標（BOD等）による評価だけでなく、「人と河川の豊かなふれあいの確保」や「豊かな生態系の確保」といった住民の視点に立った評価（新しい水質指標による評価）も実施しています。（平成17年3月30日国土交通省河川局記者発表 http://www.mlit.go.jp/river/press/200501_06/050330-1/）





この新しい水質指標には、河川管理者がこれまで測定してきた項目だけでなく、「川底の感触」や「水のおい」等の“住民との協働”による調査も測定項目として加えています。

平成18年は、20水系46地点において調査が行われ、そのうち41地点で、のべ1,800名の方々に協働調査へ参加していただきました。（平成17年は20水系55地点で実施 そのうち協働調査は47地点で一般参加者は1,587名でした。）

なお、指標項目については、将来的に得られる科学的知見や河川特性の変化に伴い、必要に応じて見直しを行うとともに、評価方法についても今後の調査結果に基づき、さらに検討を進めていく必要があります。

（1）人と河川の豊かなふれあいの確保

川への近づきやすさの目安となる「ゴミの量」「透視度」「川底の感触」「水のおい」「糞便性大腸菌群数」の5つ評価項目についてA～Dの4ランクで評価し、最も低く判定された項目のランクをその地点の評価とします。同一地点で複数回の調査を行っている場合は、最頻ランクをその地点の年間評価とします。

ランク	説明	ランクのイメージ	評価項目と評価レベル ¹⁾				
			ゴミの量	透視度 (cm)	川底の感触 ³⁾	水のおい	糞便性大腸菌群数 (個/100mL)
A	顔を川の水につけやすい		川の中や水際にゴミは見あたらぬまたは、ゴミはあるが全く気にならない	100以上 ²⁾	不快感がない	不快でない	100以下
B	川の中に入って遊びやすい		川の中や水際にゴミは目につくが、我慢できる	70以上	ところどころヌルヌルしているが、不快でない		1000以下
C	川の中には入れないが、川に近づくことができる		川の中や水際にゴミがあって不快である	30以上	ヌルヌルしており不快である	水に鼻を近づけて不快な臭いを感じる 風下の水際に立つと不快な臭いを感じる	1000を超えるもの
D	川の水に魅力がなく、川に近づきにくい		川の中や水際にゴミがあってとても不快である	30未満			

1) 評価レベルについては、河川の状況や住民の感じ方によって異なるため、住民による感覚調査等を実施し、設定することが望ましい。

2) 実際には100cmを超える水質レベルを設定すべきであり、今後の測定方法の開発が望まれる。

3) 川底の感触とは、河床の礫に付着した有機物や藻類によるヌルヌル感を対象とする。そのため、川底の感触は、ダム貯水池、湖沼、堰の湛水域には適用しない。

その結果、調査を実施した全43地点の年間評価は、「顔を川の水につけやすい」が6地点、「川の中に入って遊びやすい」が18地点、「川の中には入れないが、川に近づくことができる」が18地点、「川の水に魅力がなく、川に近づきにくい」が1地点でした。（図 - 6及び巻末資料を参照）図 - 6に各水系の代表1地点について、参加人数が一番多かった日の調査結果を図示しています。

なお、本調査の評価項目である「ゴミの量」「川底の感触」「水のにおい」は、測定者の感じ方によって測定結果が異なることがあります。

（２）豊かな生態系の確保

生物の生息・生育・繁殖環境として好ましいかの目安となる「溶存酸素（DO）」、「アンモニウム態窒素（NH₄-N）」、「水生生物調査」の3つの評価項目についてA～Dの4ランクで評価し、最も低く判定された項目のランクをその地点の評価とします。同一地点で複数回の調査を行っている場合は、最低ランクをその地点の年間評価とします。

ランク	説明	水質管理指標		
		DO (mg/L)	NH ₄ -N (mg/L)	水生生物の生息
A 	生物の生息・生育・繁殖環境として非常に良好	7以上	0.2以下	・きれいな水 ・カワゲラ ・ナガレトビケラ等
B 	生物の生息・生育・繁殖環境として良好	5以上	0.5以下	・少しきたない水 ・コガタシマトビケラ ・オオシマトビケラ等
C 	生物の生息・生育・繁殖環境として良好とは言えない	3以上	2.0以下	・きたない水 ・ミズムシ ・ミズカマキリ等
D 	生物が生息・生育・繁殖しにくい	3未満	2.0を超えるもの	・大変きたない水 ・セスジユスリカ ・チョウバエ等

その結果、調査を実施した全41地点の年間評価は、生物の生息・生育・繁殖環境として「非常に良好」が26地点、「良好」が11地点、「良好とは言えない」が4地点でした。（図 - 7及び巻末資料を参照）図 - 7に各水系の代表1地点について、参加人数が一番多かった日の調査結果を図示しています。

（３）利用しやすい水質の確保

水道用水への利用（安全性、臭い、維持管理のしやすさ）の目安となる「トリハロメタン生成能」「2-MIB」「ジオキシン」「NH₄-N」の4つの評価項目についてA～Cの3ランクで評価し、最も低く判定された項目のランクをその地点の評価とします。同一地点で複数回の調査を行っている場合は、通年の95%値をその地点の年間評価とします。

ランク	説明	評価項目と評価レベル			
		安全性	快適性		維持管理性
		トリハロメタン生成能 (μg/L)	2-MIB (ng/L)	ジオスミン (ng/L)	NH ₄ -N (mg/L)
A	より利用しやすい	100以下	5以下	10以下	0.1以下
B	利用しやすい		20以下	20以下	0.3以下
C	利用するためには高度な処理が必要	100を超えるもの	20を超えるもの	20を超えるもの	0.3を超えるもの

その結果、調査を実施した全20地点の年間評価は、水道用水に、「より利用しやすい」が15地点、「利用しやすい」が3地点、「利用するためには高度な処理が必要」が2地点でした。(図-8及び巻末資料を参照)

(4) 今後に向けて

平成18年は20水系46地点において調査が行われ、調査地点は昨年よりも9地点減りましたが、一般参加者は213名増の延べ1,800名でした。今後も多くの方が河川を身近に感じ、水質保全の必要性や河川愛護の重要性を理解して頂けるよう本調査を継続します。

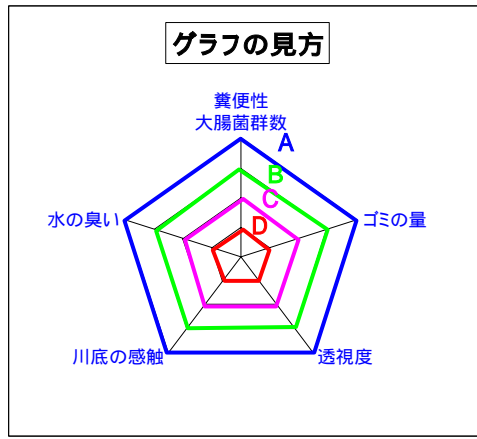
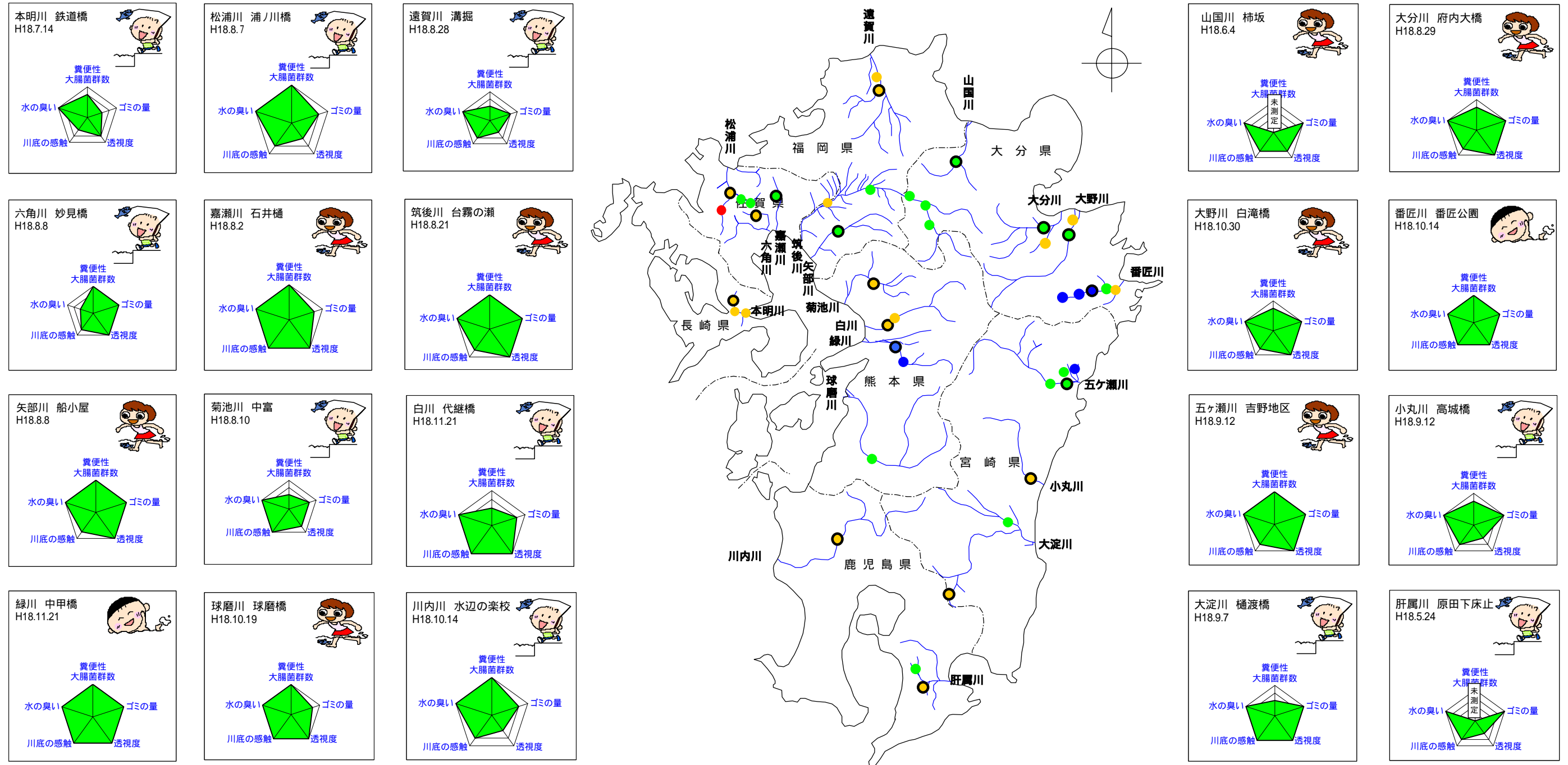
平成18年で2年目となるこの調査をさらに実効のあるものにするために以下の点に留意する必要があります。

- ・人と河川の豊かなふれあいの確保の評価項目のうち「ゴミの量」「川底の感触」「水のおいしさ」は、測定者の感じ方によって測定結果が異なることがある。
- ・豊かな生態系の確保についての評価は「水生生物の生息」の測定結果に左右され、水生生物の生息状況は、水質だけでなく川の流速、河床材料、水生植物の繁茂状況、調査時期等のさまざまな要因に影響を受ける。

このように各地点での調査回数が少ない場合、その地点の年間評価にその川の通常の状態が正しく反映されない可能性があります。身近な川をよく知ってもらうためにも、協働調査への参加団体を広く募集し、各地点での調査回数をもっと増やす必要があります。

今後も新しい水質指標による協働調査を実施し、河川の水質情報を収集するとともに住民の川に対する関心を高めてもらうことに努めていきます。

図 - 6 人と河川の豊かなふれあいの確保



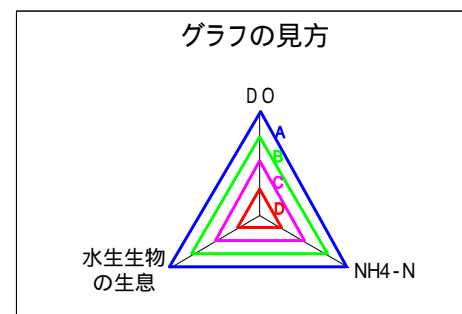
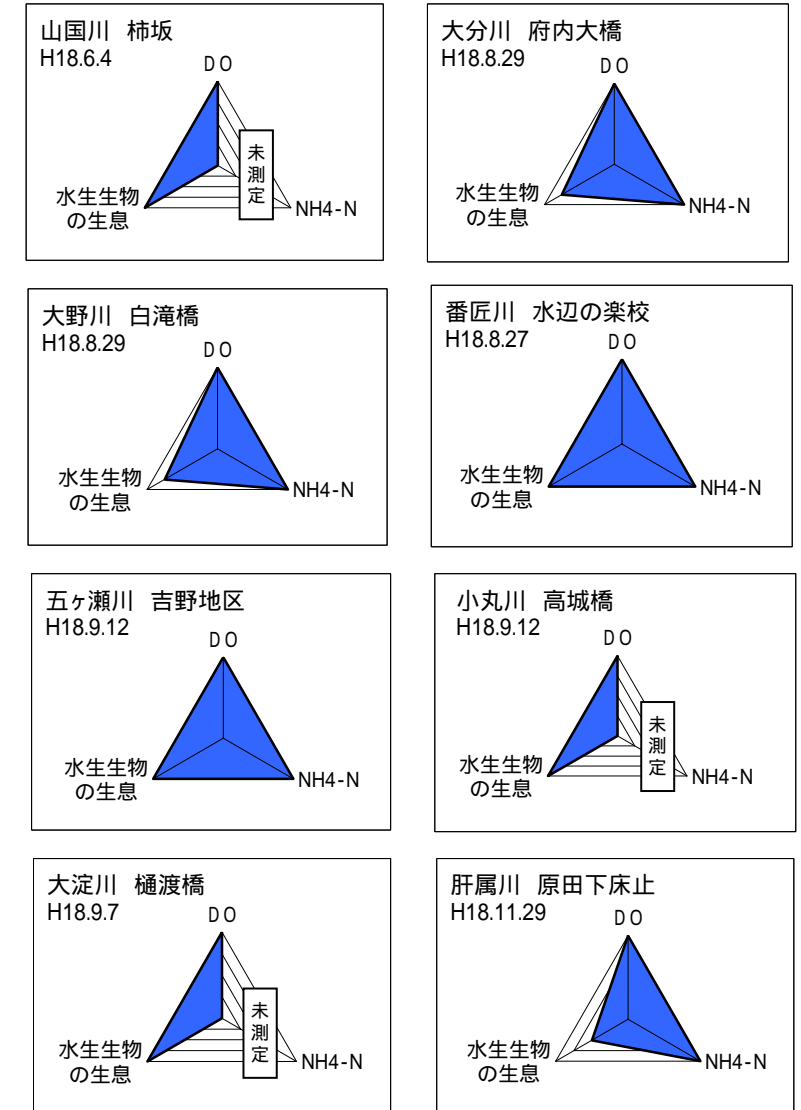
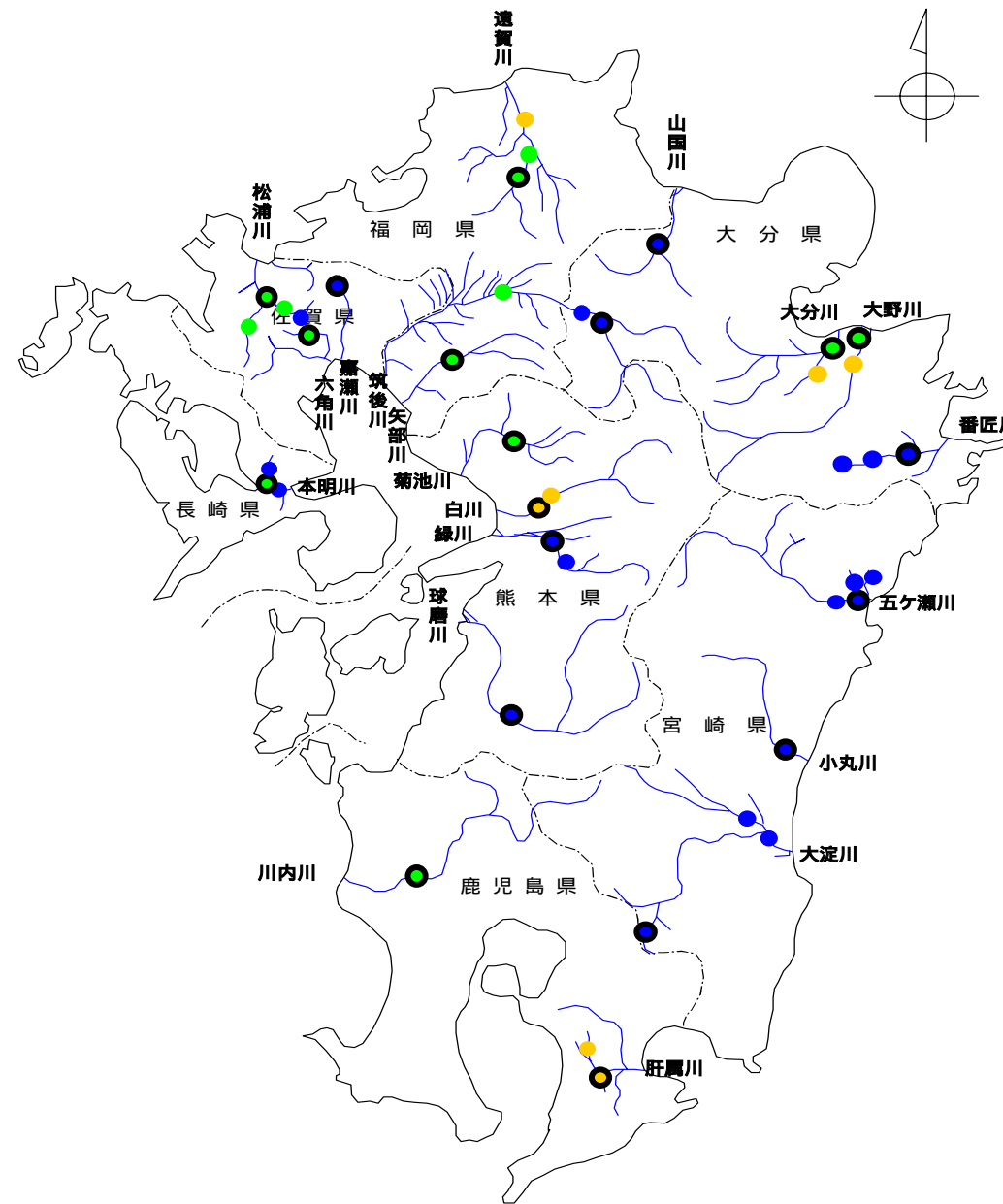
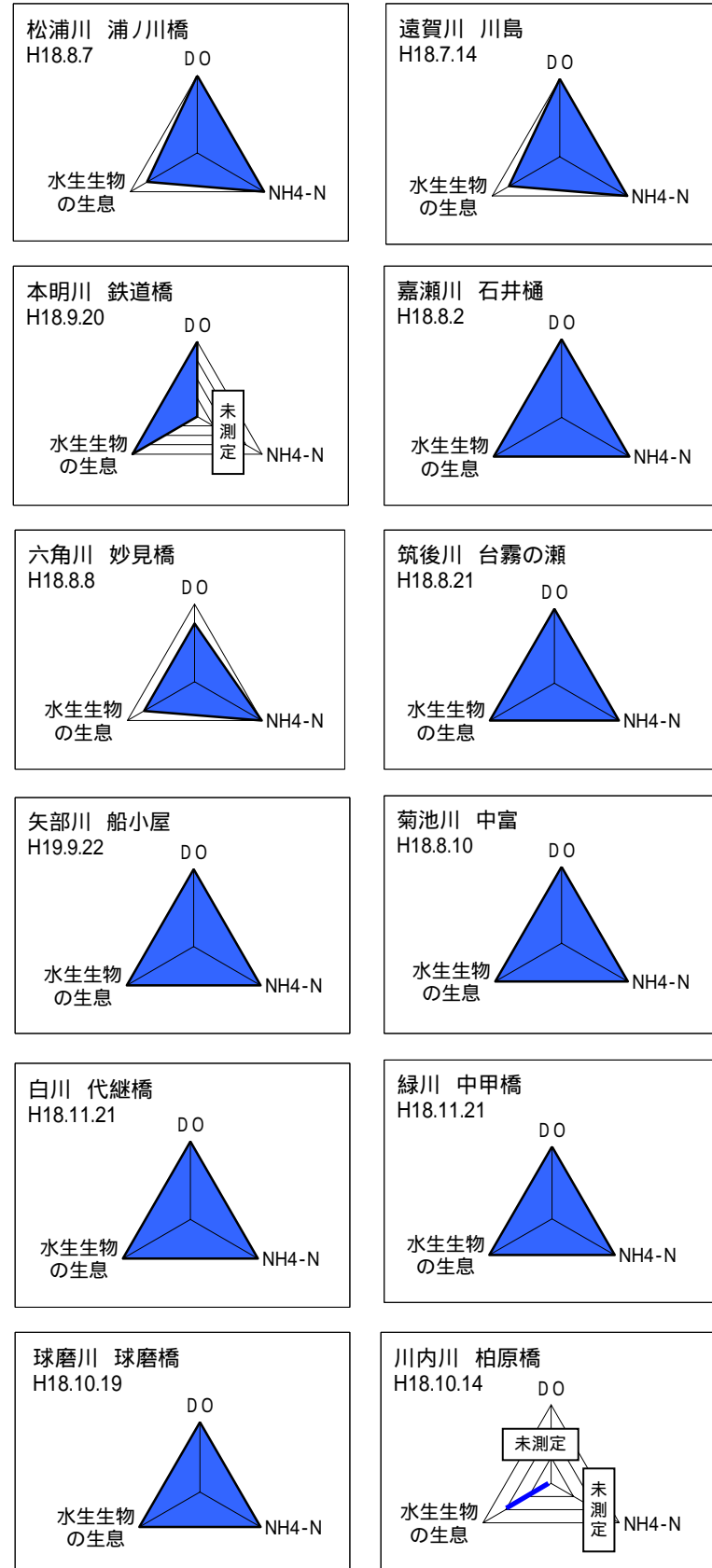
ランク	説明	ランクのイメージ	評価項目と評価レベル ¹⁾				
			ゴミの量	透視度 (cm)	川底の感触 ³⁾	水におい	糞便性大腸菌群数 (個/100mL)
A ●	顔を川の水につけやすい		川の中や水際にゴミは見あたらないまたは、ゴミはあるが全く気にならない	100以上 ²⁾	不快感がない	不快でない	100以下
B ●	川の中に入って遊びやすい		川の中や水際にゴミは目につくが、我慢できる	70以上	ところどころヌルヌルしているが、不快でない		1000以下
C ●	川の中に入れないが、川に近づくことができる		川の中や水際にゴミがあって不快である	30以上	水に鼻を近づけて不快な臭いを感じる 風下の水際に立つと不快な臭いを感じる		1000を超えるもの
D ●	川の水に魅力がなく、川に近づきにくい		川の中や水際にゴミがあってとても不快である	30未満	ヌルヌルしており不快である	風下の水際に立つと、とても不快な臭いを感じる	

1) 評価レベルについては、河川の状況や住民の感じ方によって異なるため、住民による感覚調査等を実施し、設定することが望ましい。
 2) 実際には1000cmを超える水質レベルを設定すべきであり、今後の測定方法の明瞭が望まれる。
 3) 川底の感触とは、河床の礫に付着した有機物や藻類によるヌルヌル感を対象とする。そのため、川底の感触は、ダム貯水池、湖沼、堰の水域には適用しない。

水系での代表観測地点をグラフで表示しています。ランクマークに記載

図 - 7 豊かな生態系の確保

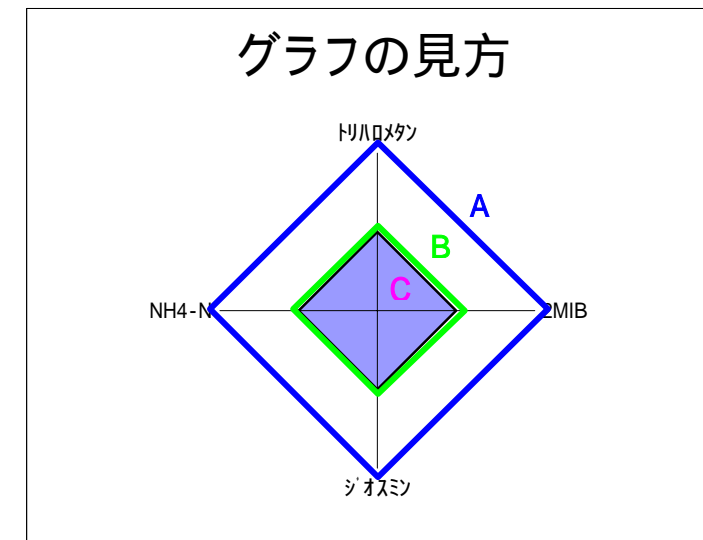
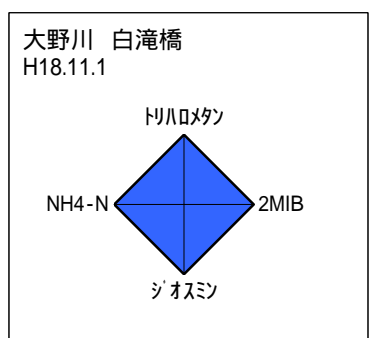
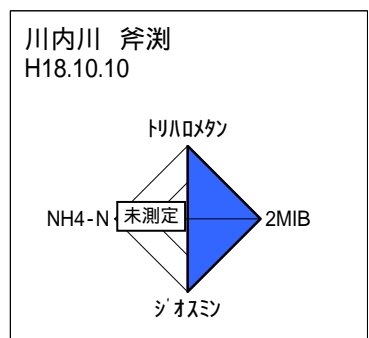
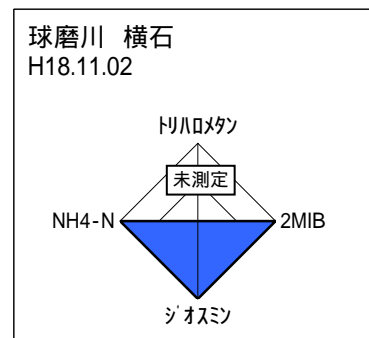
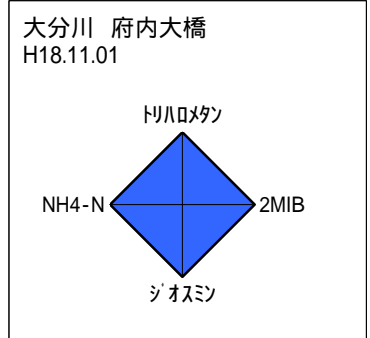
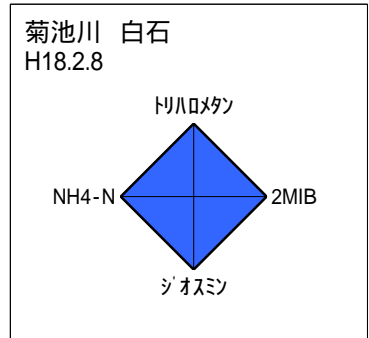
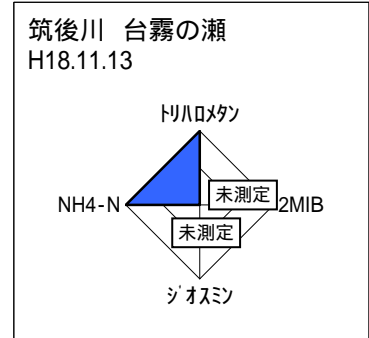
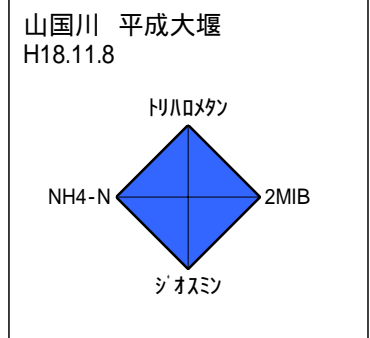
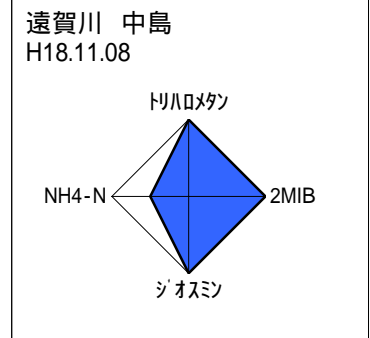
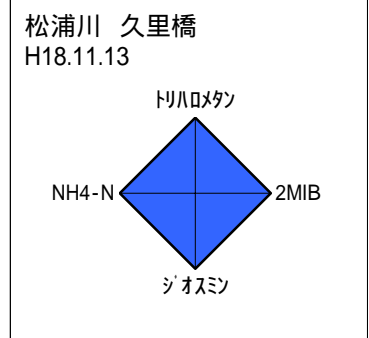
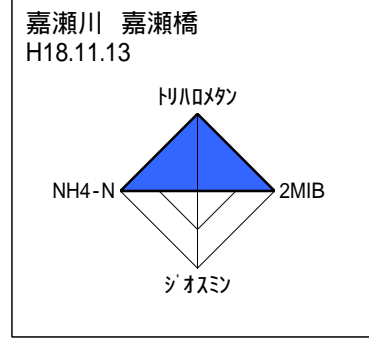
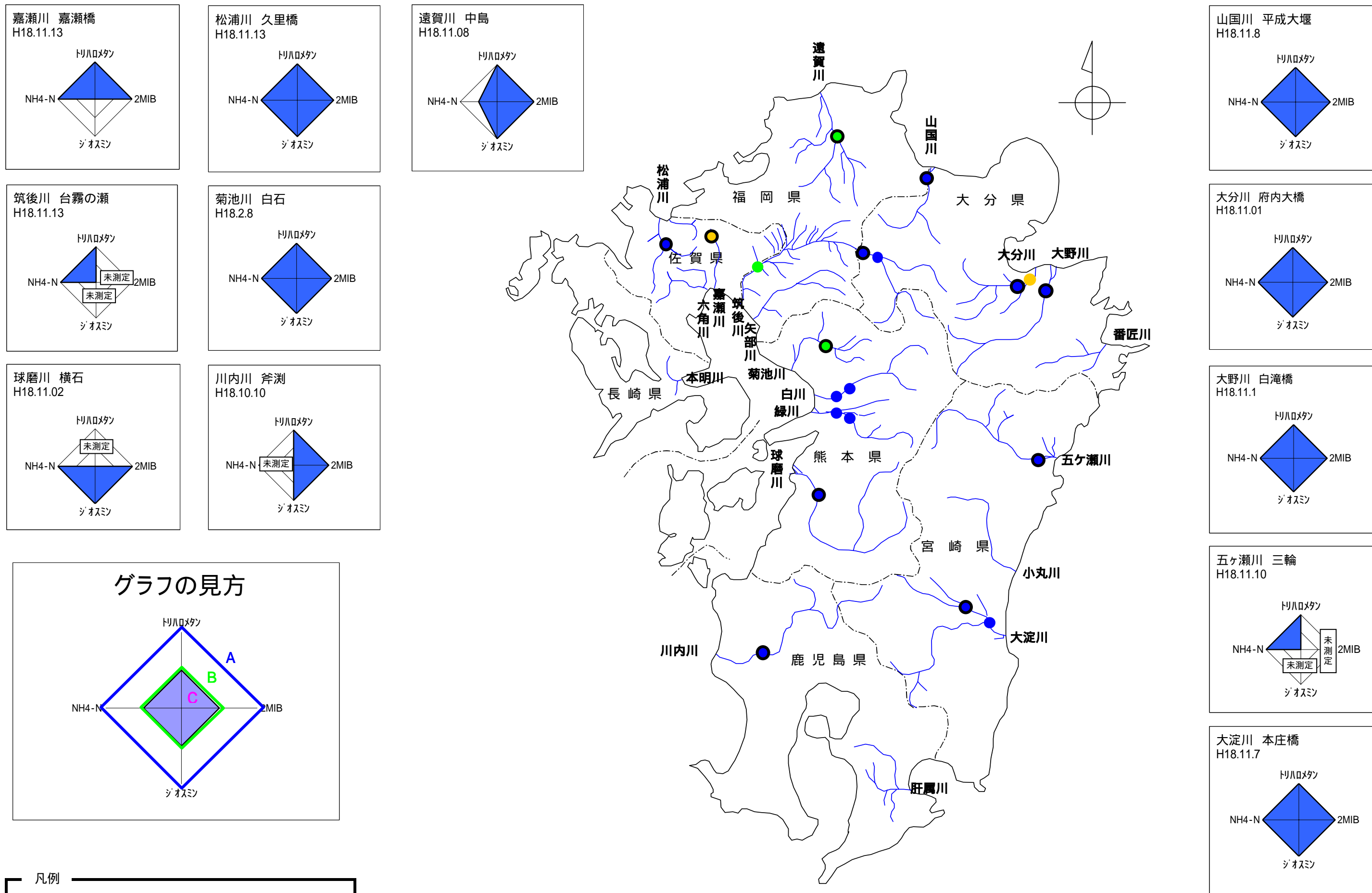
「豊かな生態系」に着目した調査結果



水系での代表観測地点をグラフで表示しています。ランクマークに 記載

ランク	説明	水質管理指標		
		DO (mg/L)	NH ₄ -N (mg/L)	水生生物の生息
A ●	生物の生息・生育・繁殖環境として非常に良好	7以上	0.2以下	きれいな水 ・カワゲラ ・ナガレトビケラ等
B ●	生物の生息・生育・繁殖環境として良好	5以上	0.5以下	少しきかない水 ・コガタシマトビケラ ・オオシマトビケラ等
C ●	生物の生息・生育・繁殖環境として良好とは言えない	3以上	2.0以下	きかない水 ・ミズムシ ・ミズカマキリ等
D ●	生物が生息・生育・繁殖しにくい	3未満	2.0を超えるもの	大変きかない水 ・セスジユスリカ ・チョウバエ等

図 - 8 利用しやすい水質の確保



- 凡例
- A より利用しやすい
 - B 利用しやすい
 - C 利用するためには高度な処理が必要

水系での代表観測地点をグラフで表示しています。ランクマークに 記載

5 . 水質事故の発生状況

水質事故が1ヶ月に約12件の割合で発生。

- ・平成18年に九州の一級水系で発生した水質事故は147件で、平成17年より43件増加しました(図-8)。このうち、上水道の取水停止を伴う水質事故が1件(油の流出事故)ありましたが、断水等市民生活への影響はありませんでした。
- ・事故の形態は、重油・軽油等の油類の流出が約8割と高い割合を占め(図-9)、原因(者)が不明な場合が多くあります(図-10)。
- ・水質事故は発生の予見が難しいこと、初期段階の迅速な対応が被害の拡大防止につながることから関係機関の密接な連携が不可欠です。そのため、全ての一級水系において、河川管理者と関係機関から成る「水質汚濁防止連絡協議会」が設置され、休日夜間を問わず事故状況の速やかな情報伝達及びオイルフェンス設置等の緊急措置を講じています。また、事故の発生及び対策状況は、報道機関を通じ一般住民に情報提供しています。

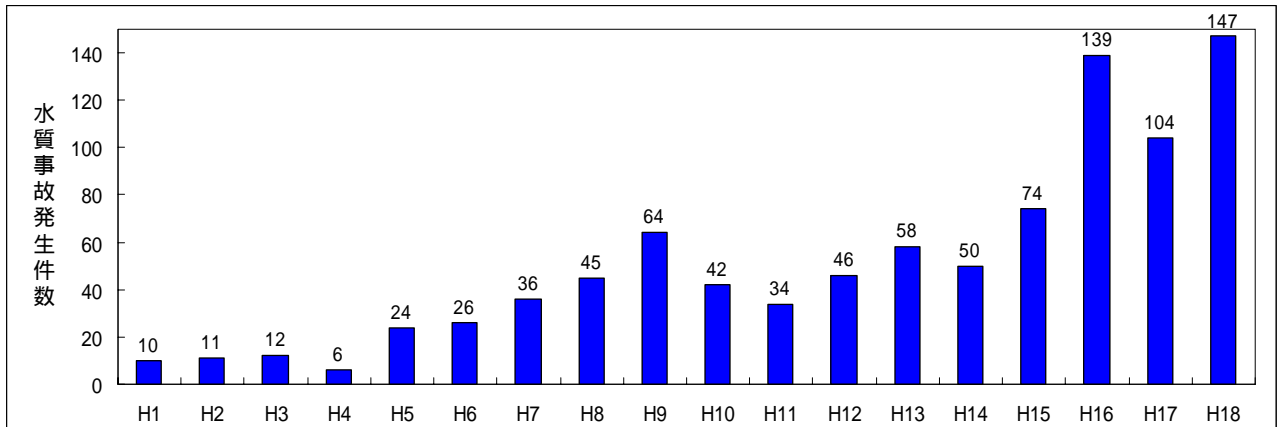


図 - 9 水質事故発生件数の経年変化

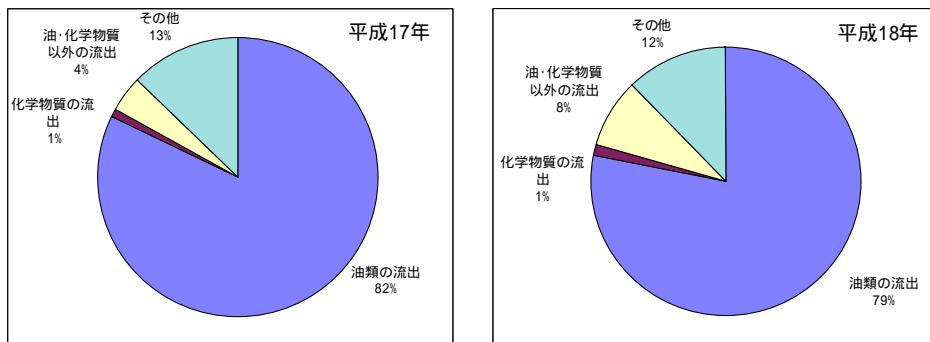


図 - 10 原因物質別水質事故発生件数

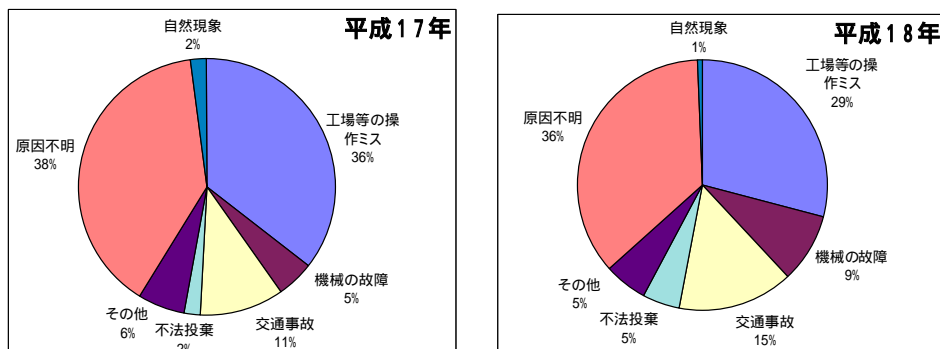


図 - 11 原因別水質事故発生件数

6 . ダイオキシン類に関する実態調査について

水質及び底質ともに、環境基準値を超過した地点はありません。

(1) 調査内容

九州管内の一級 20 水系 30 地点において、平成 18 年 10 月に水質及び底質中のダイオキシン類(ポリクロロジベンゾパラジオキシン(PCDD)、ポリクロロジベンゾフラン(PCDF)、コプラナーPCB (Co-PCB)) の調査を実施しました。

(2) 調査結果

水質調査結果

水質の調査結果は表 - 2 に示すとおりであり、『ダイオキシン類対策特別措置法』により定められている『水質の環境基準値』1pg-TEQ/L 及び要監視濃度(環境基準の 1/2) を超える地点はありませんでした。

表 - 2 水質調査結果 (単位 : pg-TEQ/L)

	地点数	環境基準値 超過地点数	要監視濃度 超過地点数
全 国	224	5	14
九 州	30	0	0

底質調査結果

底質の調査結果は表 - 3 に示すとおりであり、『ダイオキシン類対策特別措置法』により定められている『底質の環境基準値』150pg-TEQ/g 及び要監視濃度(環境基準の 1/2) を超える地点はありませんでした。

表 - 3 底質調査結果 (単位 : pg-TEQ/g)

	地点数	環境基準値 超過地点数	要監視濃度 超過地点数
全 国	231	0	0
九 州	30	0	0

=====
<用語説明>

pg (ピコグラム) = 10^{-12} g (1 兆分の 1 グラム)

TEQ (毒性等量)

ダイオキシンには多くの種類があり、それぞれ毒性が異なるため、毒性の最も強い 2,3,7,8-TCDD (四塩化ジベンゾ-パラ-ジオキシン) の毒性に換算した値。

3. 内分泌攪乱化学物質に関する実態調査について

九州管内の一級水系 12 地点で調査を実施。

(1) 調査概要

動物の生体内に取り込まれた場合、その生体内で営まれる正常なホルモン作用に影響を与える外因性物質（以下「内分泌攪乱化学物質」という。）の疑いがある物質を平成 10 年度より試行的に調査しています。平成 18 年度は 12 水系 12 地点（水質：12 地点、底質：5 地点）を調査しました。

(2) 調査結果

水質調査

内分泌攪乱化学物質として疑いのある物質のうち、重点調査濃度が設定されている 5 物質の調査結果を表 - 4 に示しています。人畜由来の女性ホルモンであるエストロン以外で、重点調査濃度を超過した物質はありませんでした。

表 - 4 水質調査対象物質の検出状況（九州、全国）

物質名	検出下限値 ($\mu\text{g/L}$)	重点調査濃度 ($\mu\text{g/L}$)	九州		全国	
			調査 地点数	重点調査濃度 超過地点数	調査 地点数	重点調査濃度 超過地点数
4-t-オキフェノール	0.01	0.496	10	0	46	0
ノルフェノール	0.1	0.304	10	0	69	4
ビスフェノール A	0.01	0.4	10	0	52	0
17 β -エストラジオール	0.0005	0.0005	10	0	53	1
エストロン	0.0005	0.0005	12	3	75	22

内分泌攪乱化学物質については環境基準値が設定されていないが、国土交通省では重点的に調査を実施するか否かの判断基準として重点調査濃度を設定し、効率的な調査を実施している。

底質調査

ベンゾ(a)ピレンについて調査を行い九州管内では 3 地点で検出されました。

表 - 5 底質調査対象物質の検出状況（九州、全国）

物質名	検出下限値 ($\mu\text{g/kg}$)	重点調査濃度 ($\mu\text{g/kg}$)	九州		全国	
			調査 地点数	検出地点数	調査 地点数	検出地点数
ベンゾ(a)ピレン	1.00	-	5	3	20	11

ベンゾ(a)ピレン：物の不完全燃焼などで発生する非意図的生成物のひとつ。環境基準は設定されていない。

参 考 资 料

1.九州地方一級河川の全地点の水質

(河川)			BOD(mg/l)			(河川)			BOD(mg/l)		
水系名	河川名	地点名	平成18年			水系名	河川名	地点名	平成18年		
			類型	平均値	75%値				類型	平均値	75%値
遠賀川	遠賀川	鶴三緒	B	1.3	1.3	大淀川	本庄川	綾南川橋	A	0.6	0.6
遠賀川	穂波川	東町橋	B	1.4	2.0	大淀川	本庄川	本庄橋	A	0.6	0.7
遠賀川	遠賀川	川島	B	1.1	1.3	大淀川	綾北川	入野橋	A	0.6	0.7
遠賀川	彦山川	今任橋	A	0.9	0.7	大淀川	深年川	太田原橋	A	0.8	0.8
遠賀川	彦山川	耨橋	B	1.4	1.8	大淀川	本庄川	柳瀬橋	A	0.7	0.7
遠賀川	金辺川	高木橋	A	1.5	2.1	大淀川	大淀川	相生橋	A	1.0	1.1
遠賀川	中元寺川	皆添橋	B	1.6	2.0	大淀川	大淀川	小戸ノ橋	A	0.9	1.0
遠賀川	彦山川	中島	B	1.6	1.5	大淀川	八重川	番所橋	未	1.0	1.1
遠賀川	遠賀川	日の出橋	B	1.3	1.5	肝属川	下谷川	田崎橋	未	1.6	1.8
遠賀川	犬鳴川	春日橋	B	0.9	0.9	肝属川	肝属川	河原田橋	C	3.1	3.6
遠賀川	犬鳴川	粥田橋	B	1.0	1.2	肝属川	始良川	始良橋	未	0.9	0.8
遠賀川	遠賀川	伊佐座	B	1.7	1.7	肝属川	高山川	新前田橋	未	0.5	<0.5
遠賀川	西川	島津橋	B	3.5	2.8	肝属川	串良川	串良橋	A	0.9	1.1
遠賀川	遠賀川	芦屋	B	1.0	1.3	肝属川	肝属川	俣瀬	B	1.8	2.1
山国川	山移川	耶馬溪ダムYL-1	未	2.4	2.3	肝属川	肝属川	第2有明橋	B	0.9	1.0
山国川	山国川	上曾木	A	0.8	0.9	川内川	川内川	亀沢橋	A	0.5	<0.5
山国川	山国川	下唐原	A	0.9	1.0	川内川	川内川	栗野	A	0.6	0.6
山国川	山国川	下宮永	A	1.0	1.0	川内川	羽月川	花北	未	0.6	0.6
山国川	山国川	山国橋	A	1.0	1.1	川内川	川内川	曾木大橋	A	0.6	0.6
山国川	山国川	柿坂	A	0.9	0.9	川内川	川内川	神子	A	0.6	0.7
山国川	中津川	北門橋	未	0.8	0.8	川内川	川内川	斧淵	A	0.6	0.7
山国川	山国川	小祝	A	0.9	1.0	川内川	川内川	中郷	A	0.6	0.6
大分川	大分川	明礪橋	A	0.9	0.9	川内川	川内川	小倉	B	1.4	1.3
大分川	七瀬川	光吉	A	0.6	0.6	球磨川	球磨川	多良木	A	0.7	0.9
大分川	大分川	府内大橋	A	0.8	0.9	球磨川	球磨川	人吉	A	0.7	0.7
大分川	大分川	広瀬橋	B	1.1	1.1	球磨川	球磨川	西瀬橋	A	0.7	0.7
大分川	大分川	弁天大橋	B	0.8	0.9	球磨川	球磨川	天狗橋	A	0.8	0.9
大野川	大野川	白滝橋	A	0.6	0.7	球磨川	球磨川	横石	B	0.7	0.8
大野川	乙津川	海原橋	A	1.3	1.7	球磨川	球磨川	萩原	B	0.7	0.8
大野川	大野川	鶴崎橋	A	1.0	1.4	球磨川	前川	前川橋	B	0.8	0.9
大野川	大野川	家島	A	0.9	0.9	球磨川	球磨川	金剛橋	B	0.7	0.9
番匠川	番匠川	番匠橋	A	0.5	<0.5	球磨川	川辺川	五木宮園	AA	0.5	<0.5
番匠川	番匠川	水路橋	B	1.2	1.4	球磨川	川辺川	神屋敷	AA	0.5	<0.5
番匠川	堅田川	茶屋ヶ鼻橋	A	1.0	1.2	球磨川	川辺川	五木	AA	0.5	<0.5
番匠川	番匠川	番匠川河口	B	0.8	0.9	球磨川	川辺川	四浦	A	0.5	<0.5
五ヶ瀬川	五ヶ瀬川	三輪	A	0.6	<0.5	球磨川	川辺川	柳瀬	A	0.5	<0.5
五ヶ瀬川	大瀬川	大瀬橋	A	0.6	0.6	球磨川	五木小川	元井谷	AA	0.5	<0.5
五ヶ瀬川	大瀬川	浜砂	A	0.6	0.6	緑川	緑川	中甲橋	A	0.6	0.8
五ヶ瀬川	五ヶ瀬川	松山橋	A	0.6	0.7	緑川	御船川	五庵橋	A	0.6	0.6
五ヶ瀬川	祝子川	中州合流点	A	1.0	1.1	緑川	緑川	城南	A	0.7	0.7
五ヶ瀬川	北川	白石	A	0.7	0.8	緑川	緑川	上杉堰	A	1.1	1.3
小丸川	小丸川	高城橋	AA	0.5	<0.5	緑川	加勢川	大六橋	A	1.6	1.9
小丸川	小丸川	高鍋大橋	A	0.6	0.7	緑川	緑川	平木橋	B	1.1	1.2
小丸川	宮田川	宮田川水門	B	1.7	1.9	緑川	浜戸川	大曲	B	1.9	1.9
大淀川	大淀川	岳下橋	A	1.6	1.9	白川	白川	小礪橋	B	0.9	1.0
大淀川	年見川	宮丸橋	A	1.4	1.6	白川	白川	代継橋	B	0.8	0.9
大淀川	大淀川	志比田橋	B	2.0	2.2	白川	白川	小島橋	B	0.9	1.1
大淀川	大淀川	乙房橋	B	1.5	1.5	菊池川	菊池川	広瀬	A	0.8	0.7
大淀川	大淀川	樋渡橋	A	0.8	0.9	菊池川	迫間川	高田橋	A	0.6	0.6
大淀川	大淀川	大ノ丸橋	A	1.2	1.3	菊池川	菊池川	中富	A	0.7	0.8

注1)平成11年からBODについて、報告下限値を0.5mg/lとして集計している。

注2)類型が未指定の地点は、類型を「未」と表示している。

(河川)			BOD(mg/l)		
水系名	河川名	地点名	平成18年		
			類型	平均値	75%値
菊池川	合志川	芦原	A	1.5	1.8
菊池川	菊池川	山鹿	A	0.8	1.0
菊池川	岩野川	八幡	未	0.6	0.7
菊池川	菊池川	白石	A	0.8	0.9
菊池川	繁根木川	永徳寺	未	0.7	0.8
菊池川	菊池川	高瀬	A	0.7	0.8
矢部川	矢部川	船小屋	A	0.8	0.9
矢部川	矢部川	瀬高	A	1.0	1.3
矢部川	飯江川	古賀橋	A	2.1	2.3
矢部川	飯江川	丁字橋	C	1.9	2.1
矢部川	矢部川	浦島橋	B	1.1	1.2
筑後川	筑後川	杖立	AA	0.6	0.7
筑後川	津江川	下笠ダムS-1	未	1.0	1.5
筑後川	筑後川	柚木	A	0.7	0.7
筑後川	玖珠川	小ヶ瀬	A	0.7	0.8
筑後川	筑後川	三隈大橋	A	0.8	0.9
筑後川	筑後川	島内堰	A	0.8	1.0
筑後川	筑後川	川下	A	1.0	1.2
筑後川	筑後川	荒瀬	A	0.7	0.7
筑後川	筑後川	片ノ瀬	A	0.8	1.0
筑後川	筑後川	神代橋	A	0.9	0.9
筑後川	宝満川	酒井東橋	B	1.6	1.7
筑後川	筑後川	瀬ノ下	A	1.0	1.1
筑後川	筑後川	六五郎橋	B	1.3	1.6
嘉瀬川	嘉瀬川	官人橋	A	0.8	1.2
嘉瀬川	嘉瀬川	石井樋	A	0.7	0.8
嘉瀬川	嘉瀬川	嘉瀬橋(徳万堰)	A	1.3	1.5
嘉瀬川	嘉瀬川	久保田橋	D	1.9	1.6
六角川	六角川	潮見橋	A	1.2	1.2
六角川	六角川	新橋	D	2.3	1.9
六角川	六角川	六角橋	D	1.1	1.3
六角川	牛津川	道祖元橋	A	0.7	0.8
六角川	牛津川	羽佐間堰	C	0.8	1.1
六角川	牛津川	砥川大橋	D	1.9	2.4
六角川	六角川	住ノ江橋	E	1.6	1.5
松浦川	巖木川	巖木ダムK-1	A	0.9	1.1
松浦川	松浦川	和田山橋	A	0.7	0.9
松浦川	巖木川	浦ノ川橋	A	0.7	0.7
松浦川	松浦川	牟田部	A	0.7	0.8
松浦川	徳須恵川	徳須恵橋	A	0.7	0.9
松浦川	松浦川	久里橋	A	1.1	1.3
松浦川	松浦川	舞鶴橋	A	1.0	1.4
本明川	本明川	鉄道橋	A	0.8	0.8
本明川	本明川	天満公園前	B	1.0	1.0
本明川	本明川	旭町	B	1.0	1.0
本明川	半造川	半造橋	未	2.6	3.0
本明川	本明川	不知火	B	1.4	1.5

(湖沼)			COD(mg/l)		
水系名	河川名	地点名	平成18年		
			類型	平均値	75%値
筑後川	筑後川	松原ダムM-1	A	1.3	1.5
筑後川	佐田川	寺内ダム	A	2.0	2.4
菊池川	迫間川	竜門ダム	A	1.2	1.4
緑川	緑川	緑川ダムSt-2	A	2.2	2.2
川内川	川内川	鶴田ダムST-I	A	2.4	2.8
川内川	川内川	鶴田ダムST-III	A	2.1	2.4

注1)平成11年からBODについて、報告下限値を0.5mg/lとして集計している。

注2)類型が未指定の地点は、類型を「未」と表示している。

注3)類型が湖沼指定の地点はCOD(mg/l)である。

2. 平成18年 新しい水質指標による住民との協働調査結果

人と河川の豊かなふれあいの確保

水系名	河川名	地点名	年月日	参加人数	参加団体名	糞便性大腸菌群数		ゴミの量	透視度		川底の感触	水のおいしさ	地点の評価	地点の年間評価	
						測定値(個/100ml)	評価		測定値(Cm)	評価					
遠賀川	遠賀川	溝掘	H18.05.31	0	直営	1200	C	B	42	C	B	A	C	C	
			H18.08.28	1	直営・個人	8200	C	B	36	C	B	A	C		
			H18.10.31	0	直営	870	B	A	56	C	B	A	C		
	笹尾川	水辺の楽校	H18.05.31	0	直営	1500	C	B	44	C	B	A	C		
			H18.08.28	1	直営・個人	12000	C	C	39	C	A	A	C		
H18.10.31	0	直営	850	B	B	83	B	A	A	A	B				
山国川	山国川	柿坂	H18.06.04	33	NPO法人水辺に遊ぶ会	-	-	A	85	B	B	A	B	B	
大分川	大分川	府内大橋	H18.02.21	7	大分大学	110	B	B	55	C	A	A	C	B	
			H18.08.29	7	河童倶楽部	230	B	A	>100	A	B	A	B		
			H18.10.30	5	河童倶楽部	800	B	A	>100	A	A	A	B		
大野川	大野川	白滝橋	H18.03.08	39	七瀬川自然公園	1100	C	A	>100	A	A	A	C	C	
			H18.02.21	7	大分大学	110	B	A	87	B	B	A	B	B	
			H18.08.29	7	河童倶楽部	38	A	A	75	B	A	A	B		
H18.10.30	7	河童倶楽部	410	B	A	>100	A	B	A	B					
H18.08.29	7	河童倶楽部	-	-	A	60	C	B	A	C	C				
番匠川	番匠川	池船スポーツ公園	H18.08.26	6	番匠川流域ネットワーク	65	A	A	>100	A	A	A	A	C	
			H18.10.14	8	番匠川流域ネットワーク	9	A	A	>100	A	C	A	C		
		上岡	H18.08.26	6	番匠川流域ネットワーク	120	B	B	>100	A	B	A	B	B	
			H18.10.14	8	番匠川流域ネットワーク	10	A	A	>100	A	B	A	B		
		番匠公園	H18.08.26	6	番匠川流域ネットワーク	120	B	A	>100	A	A	A	B	A	
			H18.10.14	8	番匠川流域ネットワーク	4	A	A	>100	A	A	A	A		
		水辺の楽校	H18.08.26	6	番匠川流域ネットワーク	53	A	A	>100	A	A	A	A	A	A
			H18.10.14	8	番匠川流域ネットワーク	2	A	A	>100	A	A	A	A	A	
		下波寄	H18.08.26	6	番匠川流域ネットワーク	20	A	A	>100	A	A	A	A	A	A
			H18.10.14	8	番匠川流域ネットワーク	7	A	A	>100	A	A	A	A	A	
五ヶ瀬川	小川	永代橋	H18.08.24	7	熊野江中学校	27	A	A	>100	A	A	A	A	A	
	祝子川	桑平橋	H18.08.25	7	熊野江中学校	46	A	A	>100	A	B	A	B	B	
	五ヶ瀬川	吉野地区	H18.09.05	30	延岡小学校	80	A	B	>100	A	B	A	B	B	
			H18.09.08	30	延岡小学校	80	A	A	>100	A	A	A	B		
			H18.09.12	30	延岡小学校	80	A	A	>100	A	B	A	B		
大瀬川	大瀬橋下流	H18.09.29	32	こぼと児童館	-	-	A	>100	A	B	A	B	B		
大淀川	本庄川	本庄橋	H18.09.12	0	直営	270	B	B	>100	A	B	A	B	B	
	大淀川	樋渡橋	H18.09.07	15	有水小学校	1900	C	A	>100	A	A	A	C	C	
小丸川	小丸川	高城橋	H18.09.12	0	直営	130	B	A	50	C	B	A	C	C	
肝属川	肝属川	鹿屋小学校前	H18.03.07	0	直営	-	-	B	>100	A	B	D	D	B	
			H18.05.09	1	大隅自然環境フォーラム	-	-	A	>100	A	B	A	B		
			H18.08.08	21	鹿屋ネイチャーゲームの会	-	-	B	>100	A	C	C	C		
			H18.11.20	1	大隅自然環境フォーラム	500	B	B	>100	A	A	A	B		
	始良川	原田下床止め	H18.03.14	0	直営	-	-	A	>100	A	A	C	C	C	
H18.05.24	5	始良川河川愛護会	-	-	A	35	C	B	A	C					
H18.11.29	1	始良川河川愛護会	430	B	B	67	C	B	C	C	C				
川内川	川内川	水辺の楽校(宮之城)	H18.10.14	18	モンシェリハウス	42	A	B	63	C	B	A	C	C	
球磨川	球磨川	球磨橋	H18.10.19	10	球磨中学校	21	A	B	>100	A	A	A	B	B	
菊池川	菊池川	中富	H18.08.10	16	米田小学校	2500	C	B	82	B	A	A	B	B	
矢部川	矢部川	船小屋	H18.02.22	0	直営	-	-	B	>100	A	A	A	B	B	
			H18.05.18	3	矢部川をつなぐ会	25	A	A	65	C	A	A	C		
			H18.08.08	17	筑後北中学	740	B	A	98	B	B	A	B		
			H18.09.22	23	下庄小学校	-	-	A	>100	A	B	A	B		
筑後川	筑後川	水辺プラザ	H18.02.16	10	NPO大山環境アスリート	220	B	A	>100	A	A	A	B	B	
			H18.05.28	15	NPO大山環境アスリート	0	A	A	78	B	A	A	B		
			H18.11.13	4	直営	1	A	A	>100	A	B	A	B		
		台霧の瀬	H18.02.16	2	直営	130	B	B	>100	A	B	A	B	B	
			H18.05.28	15	日田市民会議水と森部会	240	B	B	42	C	B	A	C		
			H18.06.22	30	日隈小学校	240	B	A	>50	C	B	A	C		
			H18.08.21	30	大明中学校	34	A	A	>100	A	B	A	B		
			H18.10.06	9	日田市民会議水と森部会	-	-	A	-	-	B	A	B		
		H18.11.13	4	直営	390	B	A	>100	A	A	A	A			
		片ノ瀬	H18.02.21	0	直営	860	B	B	>100	A	B	A	B	C	
			H18.08.21	35	信愛女学院	-	-	B	90	B	C	A	C		
			H18.11.13	4	直営	650	B	A	70	C	B	A	C		
		瀬ノ下	H18.02.21	0	直営	-	-	A	53	C	-	A	C	C	
			H18.05.08	0	直営	13	A	-	-	-	-	-	A		
H18.08.02	0	直営	74	A	-	-	-	-	-	A					
隈川	隈川	島内堰	H18.02.16	0	直営	98	A	B	>100	A	-	A	B	B	

人と河川の豊かなふれあいの確保

水系名	河川名	地点名	年月日	参加人数	参加団体名	糞便性大腸菌群数		ゴミの量	透視度		川底の感触	水のおい	地点の評価	地点の年間評価
						測定値 (個/100ml)	評価		測定値 (Cm)	評価				
嘉瀬川	嘉瀬川	石井樋	H18.08.02	14	久保田町立思斉小学校	23	A	B	>100	A	A	A	B	B
六角川	牛津川	妙見橋	H18.08.08	14	多久市立納所小学校	84	A	A	>100	A	B	C	C	C
松浦川	松浦川	桃ノ川橋	H18.07.31	12	伊万里市立松浦小学校	-	-	D	95	B	B	C	D	D
		浦ノ川橋	H18.08.07	18	唐津市立相知小学校	6	A	B	60	C	B	A	C	C
	巖木川	町切橋	H18.08.01	6	唐津市立田頭小学校	-	-	B	>100	A	A	A	B	B
本明川	本明川	鉄道橋	H18.07.14	30	諫早小学校	470	B	C	84	B	C	A	C	C
			H18.11.11	4	メダカの学校	180	B	-	45	C	-	-	C	
		天満公園前	H18.07.14	28	諫早小学校	260	B	B	>100	A	C	A	C	C
		旭町	H18.07.14	29	諫早小学校	620	B	B	89	B	B	C	C	C
白川	白川	子飼倍	H18.10.10	4	九州東海大学	471	B	A	>100	A	A	A	B	C
			H18.11.21	4	九州東海大学	2000	C	A	>100	A	A	A	C	
		代継橋	H18.10.10	4	九州東海大学	465	B	B	>100	A	A	A	B	C
			H18.11.21	4	九州東海大学	1460	C	B	>100	A	A	A	C	
緑川	緑川	中甲橋	H18.10.10	4	九州東海大学	41	A	A	>100	A	A	A	A	A
			H18.11.21	4	九州東海大学	43	A	A	>100	A	A	A	A	
		乙女河原	H18.10.10	4	九州東海大学	27	A	A	>100	A	A	A	A	A
			H18.11.21	4	九州東海大学	24	A	A	>100	A	A	A	A	

地点の評価：評価項目のうち最も低く判定されたランクとする。

地点の年間評価：「人と河川の豊かなふれあいの確保」については、月々の評価の最頻ランクとする。

：「豊かな生態系」については、月々の評価の最低ランクとする。

豊かな生態系の確保

水系名	河川名	地点名	年月日	参加人数	参加団体名	DO		NH4-N		水生生物の生息		地点の評価	地点の評価
						測定値 (mg/l)	評価	測定値 (mg/l)	評価	測定値	評価		
遠賀川	遠賀川	川島	H18.07.14	57	幸袋小学校	8.2	A	0.04	A		B	B	
			H18.09.30	7	エコ工房	9.1	A	0.02	A		B		
		溝掘	H18.05.31	0	直営	8	A	0.13	A		B	B	
			H18.08.28	0	直営	7.9	A	0.04	A		B		
	笹尾川	水辺の楽校	H18.05.31	0	直営	7.4	A	0.23	B		B	C	
			H18.08.28	0	直営	6.1	B	0.11	A		C		
			H18.10.31	0	直営	8.8	A	0.1	A		C		
山国川	山国川	柿坂	H18.06.04	33	NPO法人水辺に遊ぶ会	10.4	A	-	-		A	A	
大分川	大分川	府内大橋	H18.02.21	7	大分大学	12	A	0.1	A		A	B	
			H18.08.29	7	河童倶楽部	10.3	A	0.01	A		B		
			H18.10.30	5	河童倶楽部	10.7	A	0.03	A		A		
	七瀬川	七瀬川自然公園	H18.03.08	39	長浜小学校	10.9	A	0.02	A		A	A	
大野川	大野川	白滝橋	H18.02.21	7	大分大学	11.4	A	0.03	A		A	B	
			H18.08.29	7	河童倶楽部	8.7	A	0.01	A		B		
			H18.10.30	7	河童倶楽部	10.5	A	0.01	A		A		
				犬飼リバーパーク	H18.08.29	7	河童倶楽部	7.2	A	-	-		A
番匠川	番匠川	番匠公園	H18.08.08	25	佐伯市立鶴谷中学校	8.6	A	<0.1	A		A	A	
		水辺の楽校	H18.08.27	11	佐伯市住民	9.0	A	<0.1	A		A	A	
		下波寄	H18.08.10	13	佐伯市立本匠中学校	9.3	A	<0.1	A		A	A	
五ヶ瀬川	小川	永代橋	H18.08.24	7	熊野江中学校	8.3	A	<0.05	A		A	A	
			祝子川	H18.08.25	7	熊野江中学校	8.5	A	<0.05	A		A	A
	五ヶ瀬川	吉野地区	H18.09.05	30	延岡小学校	8.6	A	<0.05	A		A	A	
			H18.09.08	30	延岡小学校	8.6	A	<0.05	A		A		
			H18.09.12	30	延岡小学校	8.6	A	<0.05	A		A		
		大瀬川	大瀬橋下流	H18.09.29	32	こばと児童館	8.7	A	-	-		A	A
大淀川	大淀川	相生橋	H18.09.12	0	直営	8.1	A	-	-		B	B	
		樋渡橋	H18.09.07	15	有水小学校	8	A	-	-		A	A	
		本庄川	本庄橋	H18.07.18	21	森永小学校	8.8	A	-	-		A	A
小丸川	小丸川	高城橋	H18.09.12	0	直営	8.1	A	-	-		A	A	
肝属川	肝属川	鹿屋小学校前	H18.05.09	1	大隅自然環境フォーラム	-	-	-	-		C	C	
			H18.08.08	21	鹿屋ネイチャーゲームの会	-	-	-	-		C		
			H18.11.20	1	大隅自然環境フォーラム	7	A	1.2	C		C		
		始良川	原田下床止め	H18.05.24	5	始良川河川愛護会	-	-	-	-		A	C
			H18.11.29	1	始良川河川愛護会	8.3	A	0.18	A		C		
川内川	川内川	柏原橋	H18.10.14	18	モンシェリハウス	-	-	-	-		B	B	
球磨川	球磨川	球磨橋	H18.10.19	10	球磨中学校	8.8	A	0.09	A		A	A	
菊池川	菊池川	中富	H18.08.10	16	米田小学校	9.3	A	0.038	A		A	A	
矢部川	矢部川	船小屋	H18.02.22	0	直営	11.6	A	0.02	A		A	A	
			H18.05.18	3	矢部川をつなぐ会	10.2	A	0.03	A		A		
			H18.08.08	17	筑後北中学	9.1	A	0.03	A		A		
			H18.09.22	23	下庄小学校	10.2	A	0.02	A		A		
筑後川	筑後川	水辺プラザ	H18.02.16	10	NPO大山環境アスリート	11.4	A	-	-		A	A	
			H18.05.28	15	NPO大山環境アスリート	10.5	A	-	-		A		
			H19.11.13	4	直営	12.2	A	-	-	I	A		
		台霧の瀬	H18.02.16	0	直営	12.3	A	0.02	A		A	A	
			H18.05.28	15	日田市民会議水と森部会	9.5	A	0.02	A		A		
			H18.06.22	30	日隈小学校	9.5	A	0.02	A		A		
			H18.08.21	30	大明中学校	9.8	A	0.02	A		A		
			H18.10.06	9	日田市民会議水と森部会	11.8	A	-	-		A		
			H18.11.13	4	直営	11	A	0.01	A	I	A		
			H18.02.21	0	直営	11.9	A	0.02	A		A		
片ノ瀬	H18.08.21	35	信愛女学院	11	A	0.02	A		B	B			
	H18.11.13	4	直営	10.8	A	0.02	A		B				
嘉瀬川	嘉瀬川	石井樋	H18.08.02	14	久保田町立思斉小学校	7.8	A	0.08	A		A	A	
六角川	牛津川	妙見橋	H18.08.08	14	多久市立納所小学校	6	B	0.02	A		B	B	
松浦川	松浦川	桃ノ川橋	H18.07.31	12	伊万里市立松浦小学校	-	-	-	-		B	B	
		浦ノ川橋	H18.08.07	18	唐津市立相知小学校	9.2	A	0.01	A		B	B	
	巖木川	町切橋	H18.08.01	6	唐津市立田頭小学校	-	-	-	-		B	B	
		中島橋	H18.07.27	18	唐津市立巖木小学校	-	-	-	-		A	A	
本明川	本明川	鉄道橋	H18.07.14	30	諫早小学校	8.9	A	-	-		A	A	
			H18.09.20	98	真津山小学校	9.1	A	-	-		A		
			H18.11.11	4	メダカの学校	11	A	-	-		A		
		天満公園前	H18.07.14	28	諫早小学校	10.0	A	-	-		A	A	
		旭町	H18.07.14	29	諫早小学校	10	A	-	-		C	C	

豊かな生態系の確保

水系名	河川名	地点名	年月日	参加人数	参加団体名	DO		NH4-N		水生生物の生息		地点の評価	地点の評価
						測定値 (mg/l)	評価	測定値 (mg/l)	評価	測定値	評価		
白川	白川	子飼倍	H18.10.10	4	九州東海大学	10.2	A	0.02	A		A	A	A
			H18.11.21	4	九州東海大学	10	A	0.06	A		A		
		代継橋	H18.10.10	4	九州東海大学	12.3	A	0.01	A		A	A	A
			H18.11.21	4	九州東海大学	10.5	A	0.04	A		A		
緑川	緑川	中甲橋	H18.10.10	4	九州東海大学	10.2	A	<0.01	A		A	A	A
			H18.11.21	4	九州東海大学	10.5	A	0.02	A		A		
		乙女河原	H18.10.10	4	九州東海大学	9.7	A	<0.01	A		A	A	A
			H18.11.21	4	九州東海大学	10.4	A	0.01	A		A		

地点の評価：評価項目のうち最も低く判定されたランクとする。

地点の年間評価：「人と河川の豊かなふれあいの確保」については、月々の評価の最頻ランクとする。

：「豊かな生態系」については、月々の評価の最低ランクとする。

利用しやすい水質の確保

水系名	河川名	地点名	年月日	トリハロメタン生成能		2MIB		ジオキシン		NH4-N		地点の評価	地点の年間評価
				測定値(μg/l)	評価	測定値(ng/l)	評価	測定値(ng/l)	評価	測定値(mg/l)	評価		
遠賀川	彦山川	中島	H18.05.26	47	A	<1	A	1	A	0.08	A	B	
			H18.08.23	42	A	2	A	3	A	0.06	A		
			H18.11.08	41	A	<1	A	2	A	0.13	B		
大分川	大分川	府内大橋	H18.02.14	22	A	<1	A	<1	A	0.1	A	A	
			H18.05.25	27	A	<1	A	<1	A	0.05	A		
			H18.08.08	27	A	<1	A	<1	A	0.02	A		
			H18.11.01	25	A	1	A	<1	A	0.03	A		
	大分川	大分川	広瀬橋	H18.02.14	21	A	<1	A	1	A	0.73	C	C
				H18.05.25	27	A	<1	A	<1	A	0.44	C	
				H18.08.08	33	A	<1	A	<1	A	0.18	B	
大野川	大野川	白滝橋	H18.02.14	13	A	1	A	<1	A	0.03	A	A	
			H18.05.25	23	A	<1	A	<1	A	0.02	A		
			H18.08.08	32	A	<1	A	<1	A	0.02	A		
			H18.11.01	19	A	1	A	2	A	0.01	A		
五ヶ瀬川	五ヶ瀬川	三輪	H18.02.03	4	A	-	A	-	A	<0.05	A	A	
			H18.05.23	4	A	-	A	-	A	<0.05	A		
			H18.08.02	7	A	-	A	-	A	<0.05	A		
			H18.11.10	5	A	-	A	-	A	<0.05	A		
大淀川	大淀川	相生橋	H18.02.04	22	A	2	A	3	A	0.14	B	B	
			H18.05.15	26	A	1	A	2	A	-	-		
			H18.08.10	24	A	1	A	1	A	<0.05	A		
			H18.11.07	25	A	1	A	2	A	-	-		
	大淀川	本庄川	本庄橋	H18.02.04	-	-	-	-	-	-	<0.05	A	A
				H18.05.15	13	A	1	A	2	A	<0.05	A	
				H18.08.10	78	A	1	A	1	A	<0.05	A	
				H18.11.07	88	A	1	A	1	A	<0.05	A	
川内川	川内川	斧淵	H18.05.09	19	A	<5	A	<5	A	<0.1	A	A	
			H18.08.29	27	A	<5	A	<5	A	<0.1	A		
			H18.10.10	20	A	<5	A	<5	A	-	-		
球磨川	球磨川	横石	H18.05.29	42	A	<5	A	<5	A	0.05	A	A	
			H18.08.25	27	A	<5	A	<5	A	<0.01	A		
			H18.11.02	-	-	<5	A	<5	A	0.05	A		
菊池川	菊池川	白石	H18.02.08	30	A	<5	A	<5	A	0.16	B	B	
			H18.05.23	30	A	<5	A	<5	A	-	-		
			H18.08.02	30	A	5	A	5	A	0.03	A		
			H18.11.15	30	A	<5	A	<5	A	-	-		
筑後川	筑後川	三隈大橋	H18.02.06	29	A	<5	A	<5	A	0.02	A	A	
			H18.05.08	37	A	<5	A	<5	A	0.02	A		
	筑後川	筑後川	台霧の瀬	H18.06.22	-	-	-	-	-	-	0.02	A	A
				H18.08.21	26	A	<5	A	<5	A	0.02	A	
				H18.10.06	-	-	-	-	-	-	-	-	
	筑後川	筑後川	瀬ノ下	H18.11.13	46	A	-	-	-	-	0.01	A	A
				H18.02.06	37	A	<5	A	<5	A	0.16	B	
筑後川	筑後川	瀬ノ下	H18.05.08	41	A	<5	A	<5	A	0.12	B	A	
			H18.08.02	32	A	<5	A	<5	A	0.04	A		
嘉瀬川	嘉瀬川	嘉瀬橋	H18.02.22	55	A	<1	A	2	A	0.05	A	C	
			H18.05.31	34	A	<1	A	68	C	0.04	A		
			H18.08.17	48	A	<1	A	74	C	0.11	B		
			H18.11.13	25	A	<1	A	65	C	<0.03	A		
松浦川	松浦川	久里橋	H18.02.22	57	A	<5	A	<5	A	0.08	A	A	
			H18.05.31	62	A	<5	A	<5	A	0.05	A		
			H18.08.17	51	A	<5	A	<5	A	0.02	A		
			H18.11.13	58	A	<5	A	<5	A	0.06	A		
山国川	山国川	平成大堰	H18.02.01	31	A	<5	A	<5	A	0.02	A	A	
			H18.05.25	60	A	<5	A	<5	A	0.02	A		
			H18.08.14	59	A	<5	A	<5	A	0.01	A		
			H18.11.08	48	A	<5	A	<5	A	0.02	A		
白川	白川	子飼倍	H18.10.10	-	-	-	-	-	-	0.02	A	A	
			H18.11.21	-	-	-	-	-	-	0.06	A		
	白川	白川	代継橋	H18.10.10	-	-	-	-	-	-	0.01	A	A
				H18.11.21	-	-	-	-	-	-	0.04	A	
緑川	緑川	中甲橋	H18.10.10	-	-	-	-	-	-	<0.01	A	A	
			H18.11.21	-	-	-	-	-	-	0.02	A		
	緑川	緑川	乙女河原	H18.10.10	-	-	-	-	-	-	<0.01	A	A
				H18.11.21	-	-	-	-	-	-	0.01	A	

3. 平成18年度 ダイオキシン類実態調査結果

平成18年度ダイオキシン類実態調査結果一覧表

水系名	河川名	調査地点名	都道府県名	調査時期	ダイオキシン類(水質)			ダイオキシン類(底質)		
					PCDD+PCDF	DL-PCB	TOTAL (評価値)	PCDD+PCDF	DL-PCB	TOTAL (評価値)
					pg-TEQ/L	pg-TEQ/L	pg-TEQ/L	pg-TEQ/g	pg-TEQ/g	pg-TEQ/g
筑後川	筑後川	瀬ノ下	福岡県	秋期	0.33	0.0050	0.34	2.7	0.120	2.8
筑後川	津江川	下釜ダム	大分県	秋期	0.066	0.0040	0.070	2.3	0.26	2.6
遠賀川	遠賀川	日の出橋	福岡県	秋期	0.085	0.0052	0.090	0.27	0.032	0.30
遠賀川	遠賀川	芦屋	福岡県	秋期	0.120	0.0048	0.120	12.00	0.590	12.00
遠賀川	穂波川	秋松橋	福岡県	秋期	0.086	0.0042	0.090	1.40	0.100	1.60
遠賀川	遠賀川	伊佐座	福岡県	秋期	0.097	0.0049	0.100	0.23	0.031	0.26
山国川	山国川	下唐原	福岡県	秋期	0.072	0.0041	0.076	0.25	0.029	0.28
大分川	大分川	府内大橋	大分県	秋期	0.069	0.0043	0.074	0.23	0.029	0.26
大野川	大野川	白滝橋	大分県	秋期	0.068	0.0042	0.072	0.21	0.030	0.24
番匠川	番匠川	番匠橋	大分県	秋期	0.066	0.0042	0.070	0.21	0.030	0.24
五ヶ瀬川	五ヶ瀬川	三輪	宮崎県	秋期	0.065	0.0041	0.069	0.21	0.028	0.23
小丸川	小丸川	高城橋	宮崎県	秋期	0.068	0.0040	0.072	0.21	0.028	0.23
小丸川	小丸川	高鍋大橋	宮崎県	秋期	0.067	0.0040	0.071	0.21	0.028	0.24
大淀川	大淀川	相生橋	宮崎県	秋期	0.073	0.0041	0.077	0.21	0.028	0.24
大淀川	大淀川	樋渡橋	宮崎県	秋期	0.072	0.0042	0.076	0.54	0.033	0.57
肝属川	肝属川	河原田橋	鹿児島県	秋期	0.074	0.0047	0.079	0.21	0.030	0.24
肝属川	肝属川	第二有明橋	鹿児島県	秋期	0.084	0.0044	0.088	0.23	0.030	0.26
川内川	川内川	曾木大橋	鹿児島県	秋期	0.078	0.0042	0.082	0.22	0.028	0.25
川内川	川内川	川内川河口	鹿児島県	秋期	0.075	0.0043	0.079	2.40	0.120	2.50
川内川	川内川	鶴田ダム	鹿児島県	秋期	0.069	0.0040	0.073	5.00	0.100	5.10
球磨川	球磨川	横石	熊本県	秋期	0.066	0.0040	0.070	0.21	0.028	0.24
緑川	緑川	上杉堰	熊本県	秋期	0.076	0.0041	0.080	0.22	0.028	0.25
白川	白川	小島橋	熊本県	秋期	0.230	0.0098	0.240	1.00	0.035	1.10
菊池川	菊池川	白石	熊本県	秋期	0.078	0.0043	0.082	7.20	0.310	7.50
矢部川	矢部川	船小屋	福岡県	秋期	0.086	0.0048	0.090	0.24	0.030	0.27
嘉瀬川	嘉瀬川	官人橋	佐賀県	秋期	0.110	0.0043	0.110	0.28	0.030	0.31
六角川	六角川	潮見橋	佐賀県	秋期	0.11	0.0055	0.12	5.90	0.270	6.20
松浦川	松浦川	久里橋	佐賀県	秋期	0.091	0.0042	0.095	0.31	0.031	0.34
本明川	本明川	旭町	長崎県	秋期	0.085	0.0044	0.090	0.25	0.033	0.29
筑後川	佐田川	寺内ダム	福岡	秋期	0.072	0.0040	0.076	9.80	0.400	10.00

注1: 四捨五入により、(PCDDs+PCDFs)とDL-PCBの和が、Totalと一致しないことがある。

一般にポリ塩化ジベンゾパラジオキシン(PCDD)とポリ塩化ジベンゾフラン(PCDF)をまとめてダイオキシン類と呼び、コプラナーポリ塩化ビフェニル(Co-PCB)のようなダイオキシン類と同様の毒性を示す物質をダイオキシン類似化合物と呼んでおり、ダイオキシン類対策特別措置法においては、PCDD及びPCDFにコプラナーPCBを含めて「ダイオキシン類」と定義している。

4. 平成18年度 内分泌攪乱化学物質調査結果

平成18年度内分泌かく乱物質に関する実態調査結果

水系名	河川名	調査地点名	重点調査地点	重点調査対象物質	採水日	水質										底質			
						SS	4-tert-オキソフェノール	ノルエチルノール	ビスフェノールA	17β-エストロゲン	エストロゲン	アノキサノール	アノキサノール	アノキサノール	アノキサノール	アノキサノール	アノキサノール	アノキサノール	アノキサノール
						mg/L	µg/L	µg/L	µg/L	µg/L	µg/L	µg/L	µg/L	µg/L	µg/L	µg/L	µg/L	µg/L	µg/L
						重点調査濃度										重点調査濃度			
						-	0.496	0.304	0.4	0.0005	0.0005	-	-	-	-	-	-	-	-
九州																			
筑後川	筑後川	瀬ノ下			10月13日	6	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	3	2.5	
矢部川	矢部川	船小屋			10月13日	2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
遠賀川	遠賀川	日の出橋		17β-EST	10月11日	4							0.00094						
肝属川	肝属川	俣瀬		17β-EST	11月8日	5							0.0024						
球磨川	球磨川	横石			10月5日	2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1.9	ND		
白川	白川	小島橋	()	17β-EST	10月3日	11	ND	ND	0.011	ND	ND	0.00085	ND	ND	ND	2.4	1.5		
緑川	緑川	上杉堰			10月3日	4	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1.7	ND		
菊池川	菊池川	白石			10月4日	2	ND	ND	0.0060	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
嘉瀬川	嘉瀬川	官人橋		ノルエチルノール	11月1日	4	ND	0.070	0.018	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
六角川	六角川	潮見橋			10月13日	5	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1.4	1.5		
松浦川	松浦川	久里橋			10月13日	5	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
本明川	本明川	旭町			10月4日	4	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
調査地点合計				4 (1)	12	12	10	10	10	10	12	5	5	5	5	5	5		
検出地点合計					5	-	0	1	3	0	3	0	0	0	5	3			
今回の調査で重点調査濃度を越えた地点数					3	-	0	0	0	0	3	-	-	-	-	-	-		
最大値					-	-	11	0.000	0.07	0.018	0.00000	0.0024	-	0.00	0.000	3.0	2.5		

ND: 不検出(検出下限未満を示す)
網掛け: 充填調査濃度を越えた値

平成18年 ダイオキシン類・内分泌攪乱科学物質調査位置図

